

# 2024 年度事業報告書



一般財団法人 出版文化産業振興財団

## 目 次

2024 年度事業報告	1
2024 年度収支報告書及び財産目録	35
2025 年度事業計画並びに予算	47
定款	59

# 2024 年度事業報告

(2024 年 4 月 1 日から 2025 年 3 月 31 日まで)

一般財団法人 出版文化産業振興財団

## <総務関係>

### 1. 理事会・評議員会の開催

#### ①第 136 回理事会

月日：6 月 10 日 会場：出版クラブビル

議題：第 1 号議案 2023 年度事業報告

第 2 号議案 2023 年度決算報告並びに監査報告

第 3 号議案 2024 年度事業計画並びに収支予算

第 4 号議案 2024 年度役員改選について

退任理事 堀内丸恵（日本雑誌協会）

亀井忠雄（三省堂書店）

第 5 号議案 第 87 回評議員会の開催（6 月 28 日）について

報告事項 BOOK MEETS NEXT2024 開催について

報告事項 業界課題への取り組みについて

#### ②第 87 回評議員会

月日：6 月 28 日 書面決議

議題：第 1 号議案 2023 年度事業報告

第 2 号議案 2023 年度決算報告並びに監査報告

第 3 号議案 2024 年度事業計画並びに収支予算

第 4 号議案 2024 年度役員改選について

報告事項 BOOK MEETS NEXT2024 開催について

報告事項 業界課題への取り組みについて

#### ③第 88 回評議員会並びに第 137 回理事会

月日：12 月 3 日 会場：如水会館

議題：第 1 号議案 2024 年度上期事業報告並びに収支報告

第 2 号議案 2024 年度下期事業計画

報告事項 秋の読書推進月間 BOOK MEETS NEXT

報告事項 街の本屋さんを元気にして、日本の文化を守る議員連盟  
報告事項 e-ラーニング プラットフォームの進捗  
報告事項 資金運用状況報告

④第 89 回評議員会並びに第 138 回理事会

月日：3月28日 会場：出版クラブビル

議題：第1号議案 2024年度事業報告案並びに収支見通し

第2号議案 2025年度事業計画並びに収支予算案

報告事項 BOOK MEETS NEXT2025 開催骨子

報告事項 東京著作権説明会

報告事項 書店議連の動き

報告事項 次年度の主要な取り組み

# 事業報告

## 1. 生涯学習事業

### ①第31期「JPIC 読書アドバイザー養成講座」

読書を通じた生涯学習ならびに読書活動の推進のため、「本」や「読書」の魅力を掘り下げる多彩な講座を1993年より提供しています。

2024年度第31期は8月より開講、全4回のうち第1回は台風の影響により収録した動画での受講となったものの、以降はすべて会場（千代田区 出版クラブホール）にて開催されました。

今期もカリキュラムが更新され、講師陣には現在第一線で活躍されている方々が出講。修了記念講演は凧良ゆうさん（小説家）をお招きし「『星の裏側』～『汝、星のごとく』と『星を編む』ができるまで～」と題して、担当編集者の河北壮平さん（講談社）を聞き手に創作エピソードを紹介していただきました。2025年3月の修了式には30期の補講生を含めた101名が修了、新たなJPIC 読書アドバイザーが誕生しました。1期から数え、JPIC 読書アドバイザーは延べ3,000人に達しました。

（受講料：一般58,000円／JPIC 賛助会員53,000円）

\*一般財団法人 日本児童教育振興財団 助成活動



第4回スクーリング時 会場の様子



受講生代表、修了証書授与

### <講座 スケジュール一覧>

日程	回数	カリキュラム課目/講座タイトル	講師
2024年 8月31日（土）	第1回①	開講式 「講座のねらいとJPICのこと」 「出版流通の現状と書店モデルの変化 ～深まる書店の苦境と、これからの可能性～」 「印刷製本 いま・むかし」	松木修一 星野 渉 佐々木 愛

9月1日(日)	第1回②	「ひとり出版社の続け方」 「出版流通のしくみと課題」 「小さな書店の大きな可能性： 町の書店のSNS戦略～」 「読書の楽しみは古本屋から」	島田潤一郎 柴野京子 小西康裕  岡崎武志
10月26日(土)	第2回③	「本で拓くまちの未来 ～出会い方、出合う意味から変える～」 「図書館の今とこれから」 「本を紹介するという仕事」	田口幹人  大串夏身 東 えりか
10月27日(日)	第2回④	「読書から「誰一人取り残さない」ために ～読書バリアフリーの理論と実践～」 「人と本が出会う仕掛けづくり」 グループディスカッション討議/発表	野口武悟  内沼晋太郎
2025年 1月25日(土)	第3回⑤	「選書のまえ、なか、あと。」 「中高生の読書」 「子どもを取り巻く環境変化と読書推進」 「雑誌の企画立案の考え方から学ぶ」	染谷拓郎 飯田一史 鈴木みゆき 富川淳子
1月26日(日)	第3回⑥	「本と電子書籍による『読書の未来』 「ブックトークで子どもに本を手渡そう」 「本を選ぶ、本を並べる ～編集工学を応用した〈選書〉の現場から」 編集ワークショップ 「見えないものが見えてくる ～編集工学ワークショップ(基礎編)」	植村八潮 徐 奈美 太田 剛  太田 剛
3月29日(土)	第4回⑦	「90分で学ぶ 読書・市民・文化活動と著作権」 「修了生にきく」  グループディスカッション討議/発表	福井健策 佐藤あけみ 松下 浩
3月30日(日)	第4回⑧	「本の探し方、本の見つけ方」 「ソフトパワーとしてのコミック」 記念講演 「『星の裏側』～『汝、星のごとく』と 『星を編む』ができるまで～」  修了式	落合早苗 横手拓治 凧良ゆう 聞き手： 河北壮平

※会場：第1回動画受講 / 第2～4回出版クラブホール(千代田区)

<第31期受講生 属性一覧>

男女計	男性	女性	年代別		10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代
105	18	85	103		0	8	11	25	35	24	0
地域別計	北海道	東北	関東	信越	北陸	東海	近畿	中国	四国	九州	沖縄
103	3	3	58	3	3	15	6	6	3	2	1

職業別	図書館	書店	出版社	出版関係	販売会社	公務員
	32	4	5	4	10	6
103	主婦	自営業	教員	学生	会社員	その他
	7	7	15	1	2	10

②「JPIC 読書アドバイザークラブ (JRAC)」の活動支援

1993年より開講している「JPIC 読書アドバイザー養成講座」の修了生は、2024年度末で約3,000名となりました。修了生は自主運営組織「JPIC 読書アドバイザークラブ (JRAC)」を組織して、精力的に活動しています。

JRACの活動は「JRAC通信の発行」、「会員用ホームページでの情報交換」「学習会の開催」など、多岐にわたります。また全国には、身近な会員のつながりを活かす地域支部があり、現在12支部・学習グループ2組も独自に活動しています。

JPICとしてもさらにJRACの活動機会を広げるため、「JPIC 読みきかせサポーター講習会」での読みきかせ講義の講師や「スミセイおはなしひろば」でのボランティア向け学習会での講師など、主催・協力事業での講師のほか、業界内外からの問い合わせにも対応し、新たな読書推進のモデルとなる事例も数多く生まれています。また「マンガ感想文コンクール」「お気に入りの一冊をあなたへ 読書推せん文コンクール」の審査など、活躍の場を広げています。

2019年より『この本読んで!』との共同企画として「親子で読んでほしい絵本大賞」を年1回開催。選考委員が選出した候補作12作品を会員が実際に読んで投票し、選考を経て受賞作の表彰をしています(第6回大賞受賞作:『「ぼくのおかあさん」2ねん1くみ すぎしたげんき』アリス館刊/ベビー賞:『りんごりらっぱ』福音館書店刊)。

このほか『この本読んで!』では、毎号、JRAC会員がおはなし会プログラムや新刊紹介などを担当し、読者から

も好評のコーナーとなっています。(JRAC会員:580名、2024年度末現在)



受賞者の4名(前列右から川之上健さん、川之上英さん、大島妙子さん、あべけんじさん代理の福音館書店・井原みつ子さん)と、後列にJRAC選書メンバー  
撮影/石川正勝

### ③各種読書講習会

#### 「JPIC 読みきかせサポーター講習会」

##### 基礎編

読みきかせボランティアの育成を目的として、「JPIC 読みきかせサポーター講習会」を1999年より開催しています。絵本作家の講演と、JPIC 読書アドバイザーによる実技講習で、基本を学べる講習会と好評。リピーターも多い講習会です。

2024年度は、第一部は三浦太郎さん（絵本作家）による特別講演、第二部はJPIC 読書アドバイザーによる読みきかせの基礎講義、第三部は参加者が少人数のグループに分かれ、各自持ち寄った絵本を使って読みきかせを実践し、終了間際まで絵本や読みきかせについて活発に意見交換がおこなわれました。



グループワークにて読みきかせをする参加者

##### 学びを深める編

2009年度からスキルアップのための講座としてスタートしました。現在は、読みきかせ活動経験者のほか、幼児教育関係者などにも対象をひろげ開催しています。

2024年度は、第一部で藤田浩子さん（語り手、幼児教育者）を講師に迎え、小道具を用いたおはなしや手遊びを、実際に体験しながら学びました。第二部はJPIC 読書アドバイザーより読みきかせの講座を、第三部は上野与志さん（絵本作家、児童書出版社・著作者懇談会 元座長）から著作権についての講義を受け、すぐにでもいかせる知識を習得しました。



著作権について講義する上野与志さん

※副読本として『この本読んで!』79号（21年夏号）[特集：読みきかせ完全ガイド]、『おはなし会・読みきかせ 著作権ハンドブック』（ともにJPIC刊）を配布。

（参加費：基礎編 2,500円／学びを深める編 3,000円）

\* 子どもゆめ基金（独立行政法人 国立青少年教育振興機構）助成活動

	日付	地区	会場	特別講師	参加者数
基礎編	12月7日	東京都千代田区	出版クラブビル	三浦太郎	114
学びを深める編	10月12日	埼玉県さいたま市	ソニックシティ	藤田浩子	115

## 「子どもたちを本の世界へ」

子どもが「本」の世界を楽しむために、大人はなにができるのでしょうか。絵本の読みきかせから児童書・読みものなどのひとり読みへの移行期について考えるフォーラムを開催しました。

午前の部は、児童文学作家 富安陽子さんによる特別講演。午後の部はクラスをふたつに分け、小学校司書教諭とJPIC 読書アドバイザーによる講義やブックトークの実演、ワークショップを実施しました。



手書きの原稿を見せる富安陽子さん

※参加特典として『この本読んで!』80号(21年秋号) [特集:絵本から読みものへ] (JPIC 刊) を配布。

(参加費:午前の部のみ 1,500 円/1 日通し参加 3,000 円)

\*子どもゆめ基金(独立行政法人 国立青少年教育振興機構)助成活動

日付	地区	会場	特別講師	参加者数
8月24日	大阪府大阪市	グランキューブ大阪	富安陽子	132

2024 年度末で「各種読書講習会」は累計 557 回、延べ参加者が約 54,100 名となりました (「JPIC 読みきかせサポーター講習会 基礎編」、「JPIC 読みきかせサポーター講習会 学びを深める編」「子どもたちを本の世界へ」のほか、過去の関連講座「読書サポーター講習会」、「子どもの本講習会」、「YA 文学講座」を含む)。

## ④「本だなプロジェクト」

2022 年度からスタートした「本だなプロジェクト」。

2024 年度も出版社から提供いただいた本を、書店を通して施設に届ける仕組みで実施しました。また 2023 年度に制作した読みきかせのコツや絵本について学べる動画を施設に視聴いただき、著作権を含めた読みきかせ全体について学んでもらってから、おはなし会などを実施してもらいました。

181 施設の応募から 30 施設を 7 月末に決定し、8~10 月にかけて本だなと本を届けました。

各施設では報告いただいただけでも、のべ 839 名がおはなし会に参加しました。



届いた本を手取る子どもたち

本だなプロジェクト実施施設（2024年度）		
都道府県	施設名	施設分類
北海道	イベみんなの食堂	こども食堂
北海道	風の子めむろ	こども食堂
宮城県	びーす食堂/みんなの家食堂	ほか
福島県	寺子屋方丈舎こども食堂	フリースクール
栃木県	菊沢こども食堂森のこびと	こども食堂
群馬県	ヒカリへ	こども食堂
千葉県	中国四川料理 正天屋	こども食堂
千葉県	みらいの学校ステップル	こども食堂
東京都	えまいまハウス	こども食堂
東京都	こきんダイナー	こども食堂
神奈川県	子どもフリースペースいらっしゃい	こども食堂
神奈川県	メダカの学校伊勢原八幡台教室	無料塾
福井県	かさじぞうちよっぺの子・かさじぞうふれあい広場	無料塾
山梨県	NPO 法人 WakuWaku の家	フリースクール
長野県	子どもカフェ「カラコエ」	こども食堂
岐阜県	清雲会エイシンシルバーアカデミー みんなの家	こども食堂
愛知県	WAIWAI のわミー	こども食堂
滋賀県	こどもの居場所まんま	こども食堂
京都府	きたおおじベース食堂	こども食堂
京都府	京都わかくさねっと	ほか
奈良県	特定非営利活動法人 せいじゅん たすけあい こども食堂	こども食堂
和歌山県	「もぐもぐ」カフェ	こども食堂
鳥取県	岩美こども食堂	こども食堂
山口県	ホットスタッフこども食堂新川クラス	こども食堂
徳島県	ふれあいハウスりぼん	こども食堂
高知県	子ども食堂とりごえ	こども食堂
愛媛県	NPO 法人アジアキッズケア(ハレルヤこども食堂)	こども食堂
福岡県	赤坂多機能型こども食堂 (NPO 法人いるか)	こども食堂
熊本県	地域コミュニティ食堂Onn+	こども食堂
沖縄県	一般社団法人くじら寺子屋	無料塾

\* SARTRAS（一般社団法人 授業目的公衆送信補償金等管理協会）助成活動

## ⑤ 「JPIC ONLINE」

2020年6月より生涯学習及び読書推進を目的として開始したオンライン配信事業です。絵本や児童文学だけでなく、文芸やビジネス、芸術、出版についてなど多様なテーマを取り上げ、2024年度は計10回、2,715名が参加。「いつでも」「どこでも」参加できるというオンラインの特性をいかし、幅広い地域・年齢層の支持を得ています。

## 2. 調査研究事業

### ① 出版業界諸課題の改善・解決に向けた研究・検討

出版業界の課題解決に向けた取り組みを2021年度より開始しました。2022年4月には、「街の本屋さんを元気にして、日本の文化を守る議員連盟」の業界事務局として、第一次提言を取りまとめました。2024年は政府の骨太の方針に初めて「書店と図書館等との連携促進等を含む文字活字の振興」および「書店の活性化」が盛り込まれました。



また、経済産業省では書店振興プロジェクトチームが発足し、車座ヒアリングを開催するなど具体的な検討が始まりました。

そのほか10月26日(土)～11月24日(日)には、出版業界が一丸となって取り組むことをめざした、新たなキャンペーン「BOOK MEETS NEXT」を実施しました。今回もSARTRASの助成を受け、プロデューサー制を導入し、全国9カ所で地域イベント、TOKYO BOOK NIGHTを開催、合計101の企画を実施しました。さらに期間中は全国の書店でキャンペーン連動企画、書店独自企画などが開催され、実施書店3,104店、イベントは7,182企画。ランディングページへのアクセス数は約4.6万件まで増加(昨年2.6万件)。

## 3. 情報提供事業

### ① 「JPIC NEWSLETTER」の発行

賛助会員への報告として「JPIC NEWSLETTER」を月1回程発行しており、ホームページからも閲覧いただけます。財団の活動詳細を発信し、財団運営に対するアドバイスをいただくなどして、事業へ反映させています。2024年度中に11号を発行し、通巻264号となりました。



## ②WEB 情報発信ツール

### 「JPIC ホームページ」

財団の事業を幅広く紹介し、活動スケジュールやイベント概要などをいち早く提供するため、1998年よりホームページを公開しています (<https://www.jpic.or.jp>)。

主催事業の「JPIC 読書アドバイザー養成講座」「JPIC 読みきかせサポーター講習会」「JPIC ONLINE」などのほか、「上野の森親子ブックフェスタ」や「BOOK MEETS NEXT」といったイベントも、HP訪問者が記事内のリンク先 WEB フォームを通して申し込みができるようにしています。

「マンガ感想文コンクール」「MINT (Manga International Network Team)」などは、個別の WEB サイトを作成し、より充実させた情報を届けています。



### 「SNS (X、LINE)」

JPIC 公式 X (@jpica\_web) で最新情報を発信。また「JPIC 読みきかせサポーター講習会」公式 LINE アカウントでは、講習会や関連イベントの告知、『この本読んで!』と連動した絵本の情報などをお知らせしています。

### 「メールマガジン (JPIC 通信)」

JPIC の情報を希望される方に「メールマガジン (JPIC 通信)」を配信。全国の本に関心のある方々に講習会やイベント情報等を地域に合わせて発信しています。

(2024 年度末メールマガジン読者：13,400 名)

## ③季刊誌『この本読んで!』の発行

読書推進活動の一環として子どもに本を手渡す、すべての方に向け、2001年11月に創刊した季刊誌『この本読んで!』(事業協力：博報堂)。2024年度は91号(24年夏号)から94号(25年春号)の4冊を発行しました。

JPIC 読書アドバイザーの選書によるおはなし会プログラムや、毎号 100 冊の新刊絵本の紹介、さまざまな切り口での特集など、子どもの本の情報を、見やすいカラー誌面で構成しています。人気作家の描きおろし連載が好評であるのに加え、91号の絵本作家「ザ・キャビンカンパニー」

大特集は、同作家の原画展会場でも販売し、売上を伸ばしています。



創刊当時の定期購読も多く、約 8,000 部を発行。一般読者や図書館等への定期購読直販のほか、メディアパルに委託し、全国の書店でも販売しています。

発行形態	<ul style="list-style-type: none"> <li>発行：年 4 回（6・9・12・3 月初旬）</li> <li>形態：A4 変形・91,92 号 80 ページ／93,94 号 72 ページ</li> </ul>	
掲載記事	91 号 2024 年夏 6/5 発売	表紙・大特集：ザ・キャビンカンパニー 特集：ノンフィクションが心を動かす 未来を拓く絵本 特集：そのとき、あわてないために 防災絵本と紙芝居 プチ特集：子どもと一緒に 平和を考える本
	92 号 2024 年秋 9/5 発売	特集：海外生まれの絵本を楽しもう 特集：秋の絵本 プチ特集：子どもの本の作家年譜一覧 海外画家編 表紙：『エルマーのあたらしいともだち』（BL 出版）デビッド・マッキー ELMER'S NEW FRIEND©2002 by David Mckee インタビュー：きたむらさとし
	93 号 2024 年冬 12/5 発売	特集：ことばを味わう絵本 特集：クリスマス絵本 表紙・インタビュー： 『もったいないばあさん かわをゆく』（講談社）真珠まりこ
	94 号 2025 年春 3/5 発売	特集：保育園・幼稚園・小学校の絵本 ：第 6 回 親子で読んでほしい絵本大賞 発表 スペシャル対談：富安陽子×長谷川義史 表紙：長谷川義史
価格	<ul style="list-style-type: none"> <li>定価：1,320 円（税込）</li> <li>定期購読（4 冊）：5,280 円（税込・送料無料）</li> </ul>	

今年度も JRAC（JPIC 読書アドバイザークラブ）との共同企画、第 6 回「親子で読んでほしい絵本大賞」を開催。『この本読んで!』の 90~93 号で紹介した新刊絵本 400 冊から JRAC 会員が実際に読んで投票し、大賞作品を決定。94 号の誌面で発表しました（P.6 参照）。

このほか、JPIC ONLINE においても「この本読んで! オンライン」として、誌面に関連する講師に登壇いただき読みきかせやブックトーク、手遊びなどの講座を開催しました。

	日程	イベント名	講師	参加者数
1	9月7日	小さな子どもたちと楽しい時間 第1回「小さな子どもたちと わらべうたで遊ぼう」	藤田浩子	208
2	9月14日	小さな子どもたちと楽しい時間 第2回「小さな子どもたちと 絵本を楽しもう」	児玉ひろ美	205
3	3月1日	子どもたちと楽しい時間を 第1回「ブックトーク こんなふうにあります 実例集」	児玉ひろ美	177
4	3月8日	子どもたちと楽しい時間を 第2回「子どもたちと楽しむ おはなしと工作」	藤田浩子	166

## 4. 交流協力事業

### ①地域読書環境整備事業

#### 北海道礼文町支援

書店も図書館もない地域に読書機会を提供する「地域読書環境整備事業」の支援を受けて、JPICと礼文町教育委員会の共同事業として1993年10月にオープンした「Book 愛ランドれぶん」。2024年度の利用者は2,459名、売上冊数は944冊でした。

#### 横浜市「よこはまこども読書パーク」開催への協力

2025年3月22日（土）に、横浜市役所アトリウムおよび市民協働スペースにて「よこはまこども読書パーク」を開催しました（主催：横浜市教育委員会、協力：有隣堂、受託事業者：一般財団法人 出版文化産業振興財団（JPIC）／「BOOK MEETS NEXT」の一環）。

「ブックフェア」では、出版社11社がブースを出展し、絵本や図鑑、読みものなど子ども向けの本を販売。また、「ステージイベント」では人気キャラクターとの撮影会、ポップアップカードのワークショップ、紙工作体験などがおこなわれ、大いににぎわいました。さらに今年度は、キャラクターパネルのフォトスポットを3か所設置。家族や仲間でおはなしの世界に入って楽しむ姿が見られました。そのほかにも、“読む”以外のさまざまな方法で読書を親しむことができるバリアフリー図書の展示、横浜市立図書館による電子書籍体験やおはなし会の開催、移動図書館「はまかぜ号」による図書の貸出などさまざまな企画が催され、来場者は思い思いに本と触れ合いました。約1,400名の来場者があり、60万円を超える売り上げがありました。

## 動画で学ぶ「はじめての読みきかせ」の実施

2023年度に制作した、読みきかせを学べる動画（全6編）を使用して、オンラインと実技のハイブリッド講座「はじめての読みきかせ」を新たに実施しました。

JPIC 読書アドバイザー養成講座 29, 30 期修了生および 31 期受講生を対象に参加者を募集。77 名が視聴、うち 39 名が 1 月 27 日（月）の実技講座に参加しました。



参加者ひとりひとりが選書をし、読みきかせを実践

この講座は自治体単位での開催も募っており、2024 年度は愛知県蒲郡市で開催。2 月 2 日から 10 日にかけて、動画を自治体の会議室で見てください（参加者は自分の都合がいいときに参加）、2 月 21 日に 22 名で実技講座をおこないました。

\* SARTRAS（一般社団法人 授業目的公衆送信補償金等管理協会）助成活動

## 「はたちの 20 冊」

10～20 代の若者への読書推進事業として、2010 年度から制作している『はたちの 20 冊』。2021 年度からは著名人 5 名が各 3 冊、各自治体が 5 冊を自由に選書して、自治体ごとに冊子を印刷、配布しています。

2024 年度は北海道幕別町、福島県飯舘村、宮城県利府町、神奈川県横浜市、和歌山県有田川町、山口県田布施町、福岡県春日市で採用されました。

また新たに配布自治体 2 か所出張授業もスタート。2 月 11 日、幕別町百年記念ホールで矢部太郎さんを講師に（250 名来場）、2 月 16 日には有田川町 ALEC でティモンディ前田裕太さんを講師に（86 名来場）開催しました。



「はたちの 20 冊」冊子の表紙



有田川町で開催した出張授業の様子

選者（敬称略）	書籍名	著者	出版社
あんり	『砂漠』	伊坂幸太郎 著	実業之日本社
	『夜空に泳ぐチョコレートグラミー』	町田そのこ 著	新潮社
	『もものかんづめ』	さくらももこ 著	集英社
高木美帆	『BRAIN DRIVEN パフォーマンスが高まる脳の状態とは』	青砥瑞人 著	ディスカヴァー・トゥエンティワン
	『スマホ脳』	アンデシュ・ハンセン 著 久山葉子 訳	新潮社
	『リトル・トリー The Education of Little Tree』（普及版）	フォレスト・カーター 著 和田穹男 訳	めるくまーる
夏井いつき	『新版 角川俳句大歳時記 春 夏 秋 冬 新年』全5巻	編者 角川書店 編集委員 茨木和生 編集委員 宇多 喜代子 編集委員 片山由 美子 編集委員 高野ムツ オ 編集委員 長谷川權 編集委員 堀切 実	KADOKAWA
	『少女パレアナ』	エレナ・ポーター 著 村岡花子 訳	KADOKAWA
	『ルポ 誰が国語力を殺すのか』	石井光太 著	文藝春秋
前田裕太	『太陽の塔』	森見登美彦 著	新潮社
	『ただしい人類滅亡計画 反出生主義をめぐる物語』	品田 遊 著	イースト・プレス
	『下町ロケット』	池井戸潤 著	小学館
矢部太郎	『星の王子さま』	サン＝テグジュペリ 作 内藤 濯 訳	岩波書店
	『超芸術トマソン』	赤瀬川原平 著	筑摩書房
	『利他・ケア・傷の倫理学—— 「私」を生き直すための哲学』	近内悠太 著	晶文社

\* SARTRS（一般社団法人 授業目的公衆送信補償金等管理協会）助成活動

## ② 「上野の森 親子ブックフェスタ 2024」の開催

2024年5月4日（土・祝）～5日（日・祝）、台東区・上野恩賜公園および周辺施設にて、「上野の森 親子ブックフェスタ 2024」が多数の後援・協賛・協力のもと開催されました。

■主催：子どもの読書推進会議、日本児童図書出版協会、  
一般財団法人 出版文化産業振興財団（JPIC）

■後援：国立国会図書館、経済産業省、文部科学省、こども家庭庁、東京都教育委員会、台東区、

公益社団法人全国学校図書館協議会、公益社団法人読書推進運動協議会、一般社団法人日本国際児童図書評議会、一般社団法人日本雑誌協会、一般財団法人日本児童教育振興財団、一般社団法人日本児童出版美術家連盟、一般社団法人日本児童文学者協会、一般社団法人日本児童文芸家協会、一般社団法人日本出版取次協会、一般社団法人日本書籍出版協会、日本書店商業組合連合会、公益社団法人日本図書館協会、文化産業信用組合、公益財団法人文字・活字文化推進機構、一般社団法人 YA 出版会、読売新聞社

■協力：上野の山文化ゾーン連絡協議会

■協賛：総合警備保障株式会社、NPO 法人読書の時間、株式会社 Yondemy、日本図書普及株式会社、公益財団法人博報堂教育財団



多くの来場者で賑わう会場



イベントテントの様子

2024 年も出版業界が一丸となって展開する読書推進活動「BOOK MEETS NEXT」の一環として実施しました。

晴天に恵まれた会場には、2 日間で昨年の約 26,300 人を上回る延べ約 28,500 人が来場しました。今年は 2 年ぶりにイベントテントも復活し、絵本のキャラクターショーやおはなし会なども開催、親子で楽しく参加される姿が見られました。また、各出展者のブースには連日多くの作家が訪れ、サイン会やおはなし会など笑顔あふれるイベントが数多く開催されました。会場での精算について昨年に引き続き完全キャッシュレス決済、分散レジ方式を導入しましたが、今年も使用可能なクレジットカードや QR コード決済も拡大し、昨年以上に会計待ち 時間の改善が図られました。

「子どもブックフェスティバル」には 65 社が出展、絵本・児童書を中心に約 42,700 冊が会場内に展示され、2 日間の売上は約 3,300 万円に上り、前年比 104.8%となりました。5 月 5 日(日・祝)には、連携イベントとして周辺施設の国際子ども図書館で講演会『生成 AI「チャット GPT」と学校教育・図書館の未来を考える』を開催し、約 133 名が参加。東京大学名誉 教授の佐藤学さんによる生成 AI の真の在り方と、紙の本との共存をどのように果たしていくか、また「我が国の学校図書館・公共図書館がどのようにあるべきなのか」についての講演を熱心に聞かれました。

### ③「書店商談会」への協力

2024年度の「書店大商談会」は、懇親会ではなく、対面でおこなう商談会を復活しました。10月30日（水）11時～17時30分に千代田区・科学技術館で開催しました。5年ぶりに大規模な会場で開催となり、合計1,116名の方が来場しました（出展社：149社）。

関西では11月12日（火）、大阪市・グランフロント大阪で「BOOK EXPO 2024 秋の陣～よし、乗り越えろ！書店人～」が開催され、総勢1,272名（出展社：209社、来場書店員：564名）が一堂に会し、熱気あふれる商談がおこなわれました。ホワイエと中央ステージでは地元本大賞受賞作家のサイン会を開催。恒例の「西日本POP王決定戦」は「手書きPOP部門」「ディスプレイ部門」合計で304作品の応募があり、当日会場ステージにて金賞・銀賞・銅賞・佳作の受賞者を表彰しました。

■主催：「書店大商談会」実行委員会、BOOK EXPO 実行委員会

■実行委員長：「書店大商談会」矢幡秀治・真光書店 代表取締役社長

「BOOK EXPO」大垣全央・大垣書店 代表取締役社長

■事務局協力：一般財団法人出版文化産業振興財団（JPIC）

### ④「マンガ感想文コンクール2024」の開催

本事業は、日本が世界に誇る文化である「マンガ」作品に触れ感想文を書くことで子どもたちの豊かな感性を育むことを目的とし2021年より開催しています。今期は、全国の小学生・中学生・高校生より13,228通の応募作品が集まりました。1次、2次審査を経て2025年1月31日（金）に最終審査がおこなわれ、その結果各部門計4作品のグランプリと19作品の特別賞作品が選ばれました。また、団体による応募に対して、応募数、作品内容を考慮し優秀だった10校を団体賞に選出しました。授賞式の前日、3月14日（金）には受賞者を対象にした講談社のコミック編集部見学ツアーを開催。翌3月15日（土）日本教育会館 一ツ橋ホール（千代田区）にて開催した授賞式では、グランプリ受賞者のコメントや最終審査を務めた有識者の講評があり、学校教育のみならず出版業界にとっても意義のあるコンクールになりました。

また授賞式に続き、関連イベントとして「マンガ感想文コンクール presents サンデー×ジャンプ×チャンピオン×マガジン4大少年マンガ誌編集長トークセッション」を開催、一般参加者をあわせ約350名が来場しました。編集にまつわるさまざまなエピソードや裏話が繰り広げられ「マンガ界の未来に求めるもの」というテーマで締めくくられました。

\*千代田区文化事業助成対象事業

■協賛：株式会社秋田書店、株式会社アルファポリス、株式会社一迅社、株式会社 KADOKAWA、株式会社講談社、株式会社集英社、株式会社主婦と生活社、株式会社小学館、株式会社スクウェア・エニックス、株式会社白泉社、株式会社双葉社、株式会社フロンティアワークス、日本図書普及株式会社



授賞式に集った受賞者



学校・図書館等に配布したポスター

マンガ感想文コンクール 2024 受賞作品一覧

グランプリ受賞者

部門	学校名/学年/氏名	感想文題名 対象タイトル/著者名/出版社名
小学校 低学年の部	北海道 中頓別町立中頓別小学校 3年 五十嵐琴律	「料理は思い出を生み出す」 『ねこまたとあさごはん』清水アイ/イースト・プレス
小学校 高学年の部	大阪府 吹田市立片山小学校 4年 井上綾乃	「てっぺよかね！宮崎(めっちゃいいね！宮崎)」 『まるさんかくしかく』東村アキコ/小学館
中学校の部	静岡県 静岡市立清水第七中学校 3年 川畑ゆり	「第一志望校「成森女子高校」」 『女の園の星』和山やま/祥伝社
高等学校の部	東京都 学習院女子高等科 1年 後藤初音	「ことば」 『ゆびさきと恋々』森下 suu/講談社

特別賞受賞者

部門	学校名/学年/氏名	感想文題名 対象タイトル/著者名/出版社名
小学校 低学年の部	鹿児島県 奄美市立朝日小学校 3年 伊地知歩斗	「桜木花道せんしゅへ」 『SLAM DUNK』井上雄彦/集英社
	大阪府 大阪市立島屋小学校 3年 稲見圭悟	「友じょうパワー」 『キン肉マン』ゆでたまご/集英社

	和歌山県 智辯学園和歌山小学校 3年 中垣内一生	「「一秒」速く頂(てっぺん)へ!!!」 『ハイキュー!!』古館春一/集英社
	東京都 世田谷区立玉堤小学校 3年 原 春	「わたしはわたし」 『コジコジ(COJI-COJI)』さくらももこ/集英社
	愛知県 春日井市立鳥居松小学校 2年 松井明日香	「なかまがいるとできること」 『魔法騎士レイアース2』CLAMP/講談社
	山口大学教育学部附属光小学校 3年 守重奏多	「ぶたどんとブー太」 『銀の匙 Silver Spoon』荒川弘/小学館
小学校 高学年の部	石川県 能登町立松波小学校 6年 井口桜華	「教えてあげたい言葉」 『鬼滅の刃』吾峠呼世晴/集英社
	広島県 廿日市市立平良小学校 5年 岡本慎平	「0歳が教えてくれたこと」 『べべべべイビー』コーヘー/小学館
	北海道 浜中町立茶内小学校 6年 中澤千尋	「正しい普通」
	三重県 四日市市立浜田小学校 5年 水野正輝	「大人になるのに必要なもの」 『WIND BREAKER』にいさとる/講談社
	滋賀大学教育学部附属小学校 6年 宮腰航生	「生きるとは」 『ベリリュウ 楽園のゲルニカ』武田一義/白泉社
中学校の部	山口県 慶進中学校 1年 西山蒼太郎	「本当の幸せにつながるこづかいの使い方とは」 『定額制夫の「こづかい万歳」 ～月額2万千円の金欠ライフ～』吉本浩二/講談社
	千葉県 2年 春田侑那	「私は宇宙を歩きたい！」 『君と宇宙を歩くために』泥ノ田犬彦/講談社
	滋賀県 高島市立安曇川中学校 2年 平尾美織	「『開花アパートメント』を読んで」 『開花アパートメント』飴石/KADOKAWA
	群馬県 桐生市立梅田中学校 2年 丸山聖奈	「右腕を上げて」 『鬼滅の刃』吾峠呼世晴/集英社
高等学校の部	埼玉県立越生高等学校 3年 新井もらな	「エゴから学ぶ才能論」 『ブルーロック』金城宗幸・ノ村優介/講談社
	東京都 鷗友学園女子高等学校 2年 伊藤陽菜	「覚悟とは」 『ジョジョの奇妙な冒険』荒木飛呂彦/集英社
	埼玉県 星野高等学校 1年 保崎優	「「いい奴」のなりかた」 『モブサイコ100』ONE/小学館
	沖縄県立豊見城南高等学校 3年 村山遥菜	「正直に」 『その着せ替え人形は恋をする』福田晋一 スクウェア・エニックス

#### 団体賞受賞校

埼玉県 川口市立幸町小学校/大阪府 枚方市立津田小学校/山口大学教育学部附属光小学校/北海道 函館市立赤川中学校/福島県 須賀川市立西袋中学校/東京都 暁星中学校/静岡県 静岡市立美和中学校/岐阜県立東濃実業高等学校/愛知県 藤ノ花女子高等学校/長崎県立上対馬高等学校

## 5. 受託事業・業務等

### ①読書普及活動協力事業

読書普及活動の活性化に向けて各社が取り組む各事業に対し、読みきかせを開催する会場への読み手のコーディネートをおこなっています。

#### ア) おはなしマラソン

日本出版販売は、子どもたちに物語の楽しさを伝え未来の読者を育てていこうという試みから、書店での読みきかせ会「おはなしマラソン」を1999年より、全国で開催しています。

(2024年度協力8書店、累計実績733書店)

#### イ) 取協読書推進事業「読み聞かせ会」

日本出版取次協会は、「読書推進」「書店店頭の活性化・増売」「第4土曜日は、こどもの本の日」の拡充をめざして、2002年秋に創立50周年記念行事として「読み聞かせ会」を開催しました。それ以降全国の希望書店で毎年おこなっています。

(2024年10月26日～12月22日の毎週土・日・祝、JPICコーディネート担当実施店53書店)

### ②「スミセイおはなしひろば」への協力

住友生命健康財団は、2001年度より、読書を通じた子どもの健全育成を目的として、子どもたちが「おはなしや本の楽しさ」に出合う「スミセイおはなしひろば」を実施しています。2024年度は2地域（10月兵庫県神戸市、11月埼玉県さいたま市周辺）で、5,048名の園児が参加しました。(2024年度実績70施設、累計2,359施設)

### ③「第57回 造本装幀コンクール」への協力

日本書籍出版協会、日本印刷産業連合会が主催する「第57回 造本装幀コンクール」においては事務局を担いました。

今回は、2023年の1年間に初版発行された本を対象に作品を募集し、185者から327点の出品がありました。審査は、6月4日（火）におこない、文部科学大臣賞、経済産業大臣賞をはじめとする各賞（全22作品）を決定しました。9月30日（月）には、授賞式と記念パーティーを出版クラブビルで開催し、受賞者や審査員など154名の出席者で大いに賑わいました。すべての出品作品は約1か月間、出版クラブビル3Fのクラブライブラリーで公開展示されました。

#### ④「お気に入りの一冊をあなたへ 読書推せん文コンクール」への協力

「お気に入りの一冊をあなたへ 読書推せん文コンクール」は博報堂教育財団が「子どもたちの読書機会の拡大」を目的に2020年度にスタートした事業です。

第4回となる2024年度は、524団体、37,818作品の応募があり、一次と二次の選考をJPIC読書アドバイザーが務めました。応募作品の募集やとりまとめなど事務局として関わっています。



2024年度 作品募集チラシ

## 6. 出版コンテンツの海外発信事業

### ①内閣府 翻訳出版事業への協力

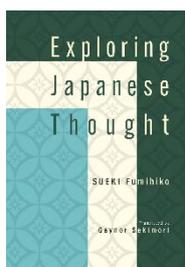
2014年度に内閣府で開始された「対日理解の促進に資する書籍の翻訳出版事業」に協力しています。翻訳される機会の少ないノンフィクション作品を英訳出版し、海外の研究施設や大学図書館等を中心に寄贈することで、より深い日本理解促進を図る事業です。対象書籍は、文化・芸術から政治・外交・思想・社会・科学技術・自然科学まで、幅広い分野におよぶ日本の書籍の中から、各界各分野の第一人者である民間有識者11名からなる選定委員会にて選ばれました。

2024年度は本事業の事務局であるクレアブ株式会社と連携し、下記2タイトルを電子版としてオープンアクセス化（配信業者 Knowledge Unlatched<ドイツ本社>を通して、Open Research Library<ORL>や OAPEN、JSTOR 等のプラットフォームで配信）するとともに、紙書籍として年度末に刊行（献本・寄贈用として内閣府に300部納品）しました。この2タイトルを含め、JPIC発行の英訳書籍は、過去10年分を合わせると合計91作品となりました。

### 2024年度 JPIC 発行書籍

-末木文美士著 *Exploring Japanese Thought* / 原書：『日本の思想をよむ』（KADOKAWA）

-酒井シヅ著 *Tales of Plague and Pestilence: A History of Disease in Japan* / 原書：『病が語る日本史』（講談社） ※オープンアクセスでの無償公開のみ、有償販売はありません。



*Exploring Japanese Thought*



ZA

*Tales of Plague and Pestilence: A History of Disease in Japan*

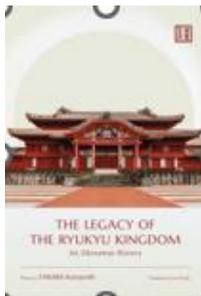
## ②日本国際問題研究所 翻訳出版事業への協力

2018年度より日本国際問題研究所（国問研）からの受託事業として、政治・外交・歴史分野の書籍の英訳出版をおこなっています。2024年度は2タイトルの英訳書籍を刊行しました。発行書籍は、国内約300カ所、海外約50カ国900カ所の、大学図書館を中心とした研究機関や公共図書館等へ寄贈すると同時に、有償販売もおこなっています。

### 2024年度 JPIC 発行書籍

-高良倉吉 著 *The Legacy of the Ryukyu Kingdom: An Okinawan History* / 原書：『琉球王国』（岩波書店）

-A.M.ナイル著 *An Indian Freedom Fighter in Japan: Memoirs of A. M. Nair* / 原書：同タイトル（Orient Longman）



*The Legacy of the Ryukyu Kingdom: An Okinawan History*



*An Indian Freedom Fighter in Japan: Memoirs of A. M. Nair*

### ③図書寄贈事業「READ JAPAN PROJECT」への協力

東京財団政策研究所が実施する「日本理解促進のための図書寄贈事業（READ JAPAN PROJECT）」に、事務局として 2018 年度より参画しています。在外公館が推薦する世界の図書館や研究機関へ、日本に関する英文図書 354 冊の中から希望を募り寄贈するプログラムです。JPIC は寄贈先機関との連絡・図書発注・発送準備等の事務局運営を担っています。

2024 年度は 155 機関、延べ約 19,090 冊の寄贈をおこないました。

### ④第 5 回「東京著作権説明会」を共催

日本と海外の出版社・エージェントが一堂に会し、書籍の著作権に関する商談を行う東京著作権説明会。

2015 年から有志でおこなわれていた同会に、JPIC が 2023 年度より共催として加わり、2024 年度は 11 月 6 日（水）・7 日（木）の 2 日間にわたり TKP 市ヶ谷カンファレンスセンターにて開催しました。出展社数は昨年から 15 社増の全 79 社、2 日間でのべ約 470 名の出版関係者が参加。また、海外から来日



第 5 回「東京著作権説明会」会場の様子

した出版関係者は、韓国（28 社）、中国（22 社）、台湾（20 社）、タイ（12 社）、インドネシア（2 社）といった常連参加国に加え、ロシア（3 社）、アメリカ（1 社）、フランス（1 社）、スペイン（1 社）、マレーシア（1 社）、ウズベキスタン（1 社）といった初参加の国も増え、世界 11 カ国 92 社から、2 日間でのべ約 320 名が来場しました。

2024年度 JPIC活動スケジュール(上期/赤字:web配信イベント)

月 日	事業・活動	参加者数	場所・会場
4月3日	マンガ感想文コンクール2024 第1回実行委員会		Zoom会議
4月15日	絵本・日本プロジェクト会議		JPIC会議室
4月18日	街の本屋さんを元気にして、日本の文化を守る議員連盟		議員会館
4月19日	上野の森 親子ブックフェスタ2024 運営委員会		JPIC会議室
4月30日	BOOK MEETS NEXT 2024企画説明会		出版クラブ会議室
5月4日～5日	上野の森 親子ブックフェスタ 2024 (共催:子どもの読書推進会議、日本児童図書出版協会)	出展65社 売上3,300万円	上野恩賜公園
5月11日	JPIC ONLINE絵本アワー「こんにちは、絵本たち！」第40回 ガイド役:安富ゆかりさん	300名参加	web配信
5月13日	絵本・日本プロジェクト会議		JPIC会議室
5月13日	BOOK EXPO2024 幹事会		Zoom会議
6月3日	第57回 造本装幀コンクール審査会	185者327点	出版クラブ会議室
6月5日	『この本読んで!』第91号(2024年夏号)発行		
6月10日	第136回 理事会		出版クラブ会議室 +web配信
6月24日	絵本・日本プロジェクト会議		JPIC会議室
6月14日	BOOK EXPO2023 第1回実行委員会		Zoom会議
6月25日	本だなプロジェクト募集締め切り	応募数181施設	
6月28日	第87回 評議員会		
7月11日	第十三回 書店大商談会 幹事会		Zoom会議
7月13日	JPIC ONLINE絵本アワー「こんにちは、絵本たち！」第41回 ガイド役:安富ゆかりさん	305名参加	web配信
7月19日	第十三回 書店大商談会 企画説明会		Zoom会議
7月19日	絵本・日本プロジェクト会議		JPIC会議室
7月23日	BOOK EXPO2024 第2回実行委員会		Zoom会議
8月1日	懐かしのお宝を探そう!「磁気式」図書カード発掘キャンペーン(～9月16日)	約6,700書店	
8月9日	本だなプロジェクト実施施設説明会		web配信
8月23日	絵本・日本プロジェクト会議		JPIC会議室
8月24日	子どもたちを本の世界へ in 大阪 特別講師:富安陽子さん	132名参加	グランキューブ大阪
8月30日	第十二回 書店大商談会 実行委員会		Zoom会議
8月31日	第31期 JPIC読書アドバイザー養成講座 第1回スクーリング①	受講生103名 年間聴講生4名	動画配信
9月1日	第31期 JPIC読書アドバイザー養成講座 第1回スクーリング②	受講生103名 年間聴講生4名	動画配信
9月5日	『この本読んで!』第92号(2024年秋号)発行		
9月7日	「この本読んで!」ONLINE 「小さな子どもたちと楽しい時間」第1回:藤田浩子さん	208名参加	web配信

月 日	事業・活動	参加者数	場所・会場
9月10日	絵本・日本プロジェクト会議		JPIC会議室
9月11日	BOOK EXPO2024 第3回実行委員会		Zoom会議
9月14日	JPIC ONLINE絵本アワー「こんにちは、絵本たち！」第42回 ガイド役:安富ゆかりさん	362名参加	web配信
9月14日	「この本読んで！」ONLINE 「小さな子どもたちと楽しい時間」第2回:児玉ひろ美さん	205名参加	web配信
9月18日	BOOK MEETS NEXT 2024 記者発表会		出版クラブ会議室 +web配信
9月19日	マンガ感想文コンクール2024 第2回実行委員会		Zoom会議
9月30日	第57回 造本装幀コンクール授賞式	154名参加	出版クラブホール
9月30日	動画「やってみよう読みかせ」視聴講座 蒲郡市	16名参加	蒲郡市

2024年度 JPIC活動スケジュール(下期/赤字:web配信イベント)

月日	事業・活動	参加者数	場所・会場
10月1日	スマセイおはなしひろば 神戸市周辺地域 実施 (～10月30日)	参加35園	
10月8日	動画「やってみよう読みかかせ」視聴開始(JPIC読書アドバイザー養成講座29、30期修了生)	参加53名	web配信
10月8日	絵本・日本プロジェクト会議		JPIC会議室
10月12日	JPIC読みかかせサポーター講習会 学びを深める編 in さいたま 特別講師:藤田浩子さん	参加115名	ソニックシティ
10月15日	BOOK EXPO2024 第4回実行委員会		大阪 JTBパブリッシング 西日本支社会議室
10月24日	秋の読書推進月間 BOOK MEETS NEXT オープニングイベント	参加360名	紀伊國屋ホール
10月26日	BOOK MEETS NEXT キャンペーン(～11月24日)		
10月26日	TOKYO BOOK NIGHT(～11月24日)		東京都内各所
10月26日	BOOK MEETS NEXT in 神戸(～12月26日)	参加125名	ANAクラウンホテル プラザ神戸
10月26日	第31期 JPIC読書アドバイザー養成講座 第2回スクーリング③	受講生103名 年間聴講生4名	出版クラブホール
10月27日	第31期 JPIC読書アドバイザー養成講座 第2回スクーリング④	受講生103名 年間聴講生4名	出版クラブホール
10月30日	第十三回 書店大商談会	参加1,116名	科学技術館
10月30日	『本』と『声』2024 TOKYO BOOK NIGHT	参加320名	サイエンスホール
11月1日	スマセイおはなしひろば さいたま市周辺地域 実施(～11月29日)	参加35園	
11月4日	なごやっ子読書イベント	参加約400名	愛知 岡谷鋼機 名古屋公会堂
11月4日	BOOK MEETS NEXT in 広島	参加920名	広島 ひろしまゲートパーク 大屋根広場
11月5日	BOOK MEETS NEXT2024スペシャルイベント	参加220名	神田明神ホール
11月6日～7日	TOKYO RIGHTS MEETING(東京著作権説明会)	出展社70社 海外参加者320名	TKP市ヶ谷 カンファレンス センター
11月8日	動画「やってみよう読みかかせ」視聴開始(JPIC読書アドバイザー養成講座31期受講生)	参加23名	web配信
11月9日	JPIC ONLINE絵本アワー「こんにちは、絵本たち！」第43回 ガイド役:安富ゆかりさん	参加344名	web配信
11月10日	三重県立図書館移転・開館30周年記念×BOOK MEETS NEXT	参加約500名	三重 三重県総合文化 センター
11月10日～17日	YAMADOKU BOOK FEST.2024		山梨 やまなしプラザ
11月12日	BOOK EXPO2024 秋の陣 ～よし、乗り越えろ！書店人～	参加1,272名	大阪 コングレコンベンション センター
11月12日	クリエイター等育成プログラム(マンガ分野) 「MINTプロジェクトの挑戦」IMART2024トークセッション		池袋アニメイト シアター
11月17日・23日	BOOK MEETS NEXT in 大阪	参加139名	大阪府内各所
11月19日	絵本・日本プロジェクト会議		JPIC会議室
11月23日～24日	KYOTO BOOK SUMMIT	来場者約3万人	京都市内各所
12月3日	第88回 評議員会 第136回 理事会		如水会館 +web配信

月日	事業・活動	参加者数	場所・会場
12月5日	『この本読んで!』第93号(2024年冬号)発行		
12月7日	JPIC読みきかせサポーター講習会 基礎編 in 東京 講師:三浦太郎さん	参加114名	出版クラブホール・ 会議室
1月11日	JPIC ONLINE絵本アワー「こんにちは、絵本たち!」第44回 ガイド役:安富ゆかりさん	参加329名	web配信
1月11日	富安陽子さん×長谷川義史さん トークイベント 「子どもの本って楽しいニョロよ」	参加119名	大阪 ハートンホテル北梅田 ホール「ぐんじょう」
1月12~13日	『はたちの20冊各自治体成人式で配布	刷り部数33,700	7自治体
1月16日	絵本・日本プロジェクト会議		JPIC会議室
1月25日	第31期 JPIC読書アドバイザー養成講座 第3回スクーリング⑤	受講生103名 年間聴講生4名	出版クラブホール
1月26日	第31期 JPIC読書アドバイザー養成講座 第3回スクーリング⑥	受講生103名 年間聴講生4名	出版クラブホール
1月27日	「やってみよう読みきかせ」実技講座	受講生39名	家の光会館
1月31日	マンガ感想文コンクール2024 最終審査会	審査員6名	集英社会議室
2月11日	『はたちの20冊』出張授業 「矢部太郎さんの読書のすすめ」 講師:矢部太郎さん	参加250名	北海道 幕別町百年記念 ホール
2月14日	絵本・日本プロジェクト会議		JPIC会議室
2月14日	クリエイター等育成プログラム(マンガ分野)「第1回講座」	育成対象者11名	出版クラブ会議室
2月16日	『はたちの20冊』出張授業 「ティモンディ前田の読書講演会 ~本の魅力と面白い作品たくさん紹介 します」 講師:前田裕太さん	参加89名	和歌山 有田川町地域交流 センターALEC
2月21日	動画「やってみよう読みきかせ」実技講座 講師:児玉ひろ美さん	受講生22名	愛知 蒲郡市市民会館 会議室
2月25日	BOOK EXPO2024 第5回実行委員会		小学館バブリッシング サービス関西支社会 議室
3月1日	「この本読んで!」ONLINE 「子どもたちと楽しい時間を」第1回 講師:児玉ひろ美さん	参加177名	web配信
3月5日	『この本読んで!』第94号(2025年春号)発行		
3月6日	クリエイター等育成プログラム(マンガ分野)「第2回講座」	育成対象者11名	出版クラブ会議室
3月8日	JPIC ONLINE絵本アワー「こんにちは、絵本たち!」第45回 ガイド役:安富ゆかりさん	参加319名	web配信
3月8日	「この本読んで!」ONLINE 「子どもたちと楽しい時間を」第2回 講師:藤田浩子さん	参加166名	web配信
3月14日	マンガ感想文コンクール 編集部ツアー(コンクール受賞者対象)	受賞者16名	講談社
3月15日	マンガ感想文コンクール2024 授賞式		日本教育会館 一ツ橋ホール
3月22日	横浜市読書活動推進ネットワークフォーラム「よこはま読書パーク」 (主催:横浜市教育委員会、協力:有隣堂、受託事業者:JPIC)	出展社11社	横浜市役所 アトリウム
3月28日	第89回 評議員会 第137回 理事会		出版クラブ会議室 +web配信
3月29日	第31期 JPIC読書アドバイザー養成講座 第4回スクーリング⑦	受講生103名 年間聴講生4名	出版クラブホール
3月30日	第31期 JPIC読書アドバイザー養成講座 第4回スクーリング⑧ 修了式	受講生103名 年間聴講生4名	出版クラブホール

一般財団法人 出版文化産業振興財団 理事・監事

理事長	近藤敏貴（トーハン会長） ※代表理事
副理事長	奥村景二（日本出版取次協会副会長、日本出版販売社長）
副理事長	小野寺優（日本書籍出版協会理事長、河出書房新社社長）
副理事長	宮原博昭（日本雑誌協会理事長、学研ホールディングス社長）
副理事長	矢幡秀治（日本書店商業組合連合会会長、東京都、真光書店）
専務理事	松木修一（事務局） ※業務執行理事
常務理事	金田 徴（事務局） ※業務執行理事
理事	安部順一（中央公論新社社長）
理事	相賀信宏（小学館社長）
理事	亀井崇雄（三省堂書店社長）
理事	高井昌史（紀伊國屋書店会長）
理事	夏野 剛（KADOKAWA 社長）
理事	野間省伸（講談社社長）
理事	廣野眞一（集英社社長）
理事	松信 裕（有隣堂会長）

以上 15 名

監事	桶田大介（弁護士）
監事	能勢正幸（公認会計士）
監事	平井 茂（日本図書普及社長）

以上 3名

並びは、個人名五十音順

2025年3月31日現在

一般財団法人 出版文化産業振興財団 評議員

評議員	飯窪成幸（文藝春秋社長）
評議員	大垣守弘（大垣書店会長）
評議員	奥野康作（ブックエース社長）
評議員	烏山公夫（光文社副社長）
評議員	川村興市（楽天ブックスネットワーク社長）
評議員	北島義斉（大日本印刷社長）
評議員	齊藤昌典（TOPPAN 社長）
評議員	佐藤隆信（新潮社社長）
評議員	千葉均（ポプラ社会長）
評議員	鉄尾周一（マガジンハウス社長）
評議員	橋本博文（丸善 CHI ホールディングス会長）
評議員	春井宏之（日書連副会長、愛知県、正文館書店）
評議員	山本憲央（中央経済社ホールディングス社長）

以上 13 名

並びは、個人名五十音順

2025 年 3 月 31 日現在

## 2024年度賛助会員(260社)

2025年3月31日現在

### 出版社

あかね書房	研究社	新書館	大日本絵画
秋田書店	建帛社	新星出版社	大日本図書
朝倉書店	幻冬舎	新潮社	ダイヤモンド社
朝日新聞出版	コアミックス	晋遊舎	大和書房
明日香出版社	好学社	JTBパブリッシング	筑摩書房
飛鳥新社	恒星社厚生閣	ジェイ・リサーチ出版	地人書館
あすなろ書房	佼成出版社	実業之日本社	チャイルド本社
アリス館	講談社	実務教育出版	中央経済社ホールディングス
家の光協会	交通新聞社	じほう	中央公論新社
医学書院	光文社	神宮館	中日新聞社広告局
池田書店	弘文堂	鈴木出版	汐文社
医歯薬出版	国土社	スターツ出版	東京書籍
一迅社	コスミック出版	すばる舎	東京創元社
一声社	小峰書店	星雲社	東京大学出版会
今人舎	ゴルフダイジェスト社	聖教新聞社	東洋経済新報社
岩崎書店	さ・え・ら書房	静山社	徳間書店
岩波書店	作品社	青春出版社	童心社
インプレスホールディング	産業図書	西東社	ドレミ楽譜出版社
WAVE出版	三オブックス	成美堂出版	南江堂
潮出版社	三修社	聖パウロ女子修道会	南山堂
NHK出版	三省堂	誠文堂新光社	二玄社
旺文社	サンマーク出版	世界思想社教学社	西村書店
宙出版	産労総合研究所出版部経営書院	世界文化ホールディングス	日経BP
オーム社	集英社	創元社	日本ヴォーグ社
KADOKAWA	秀和システム	草思社	日本実業出版社
化学同人	出版ワークス	増進堂・受験研究社	日本スポーツ企画出版社
風間書房	主婦と生活社	TAC出版事業部	日本能率協会マネジメントセンター
角川春樹事務所	主婦の友社	大修館書店	日本文芸社
金子書房	小学館	大洋図書	農山漁村文化協会
河出書房新社	小学館集英社プロダクション	高橋書店	白水社
かんき出版	彰国社	宝島社	白泉社
学研ホールディングス	祥伝社	エパブリック	博文館新社
共立出版	少年画報社	竹書房	博友社
金星堂	少年写真新聞社	辰巳出版	PHP研究所
金の星社	昭文社	玉川大学出版部	ひかりのくに
くもん出版	晶文社	淡交社	ひさかたチャイルド
	新興出版社啓林館	第三文明社	日之出出版

評論社  
 ビーエル出版  
 白夜書房  
 ぴあ  
 フォレスト出版  
 福音館書店  
 富山房  
 扶桑社  
 双葉社  
 二見書房  
 フレックスコミックス  
 フレーベル館  
 ブロンズ新社  
 プレジデント社  
 文英堂  
 文化学園文化出版局  
 ぶんか社  
 文響社  
 文溪堂  
 文芸社  
 文藝春秋  
 文理  
 平凡社  
 ベースボール・マガジン社  
 ベネッセコーポレーション  
 ベレ出版  
 芳文社  
 法律文化社  
 ほるぷ出版  
 ポプラ社  
 マガジンハウス  
 三笠書房  
 みすず書房  
 光村教育図書  
 ミネルヴァ書房  
 モーターマガジン社  
 山川出版社  
 有斐閣  
 吉川弘文館  
 リイド社  
 リクルート  
 理論社  
 ワン・パブリッシング  
 (出版社 190 社)

**取次会社**  
 協和出版販売  
 中央社  
 東京即売  
 トーハン  
 日教販  
 日本出版販売  
 日本出版貿易  
 博文社  
 メディアドゥ  
 楽天ブックスネットワーク  
 (取次会社 10 社)

**書店**  
 今井書店グループ  
 大垣書店  
 紀伊國屋書店  
 金港堂  
 三省堂書店  
 須原屋  
 八文字屋  
 ブックエース  
 丸善CHIホールディングス  
 有隣堂  
 (書店 10 社)

**書店組合**  
 愛知県書店商業組合  
 茨城県書店商業組合  
 岩手県書店商業組合  
 愛媛県書店商業組合  
 大阪府書店商業組合  
 沖縄県書店商業組合  
 神奈川県書店商業組合  
 京都府書店商業組合  
 群馬県書店商業組合  
 埼玉県書店商業組合  
 滋賀県書店商業組合  
 兵庫県書店商業組合  
 広島県書店商業組合  
 北海道書店商業組合  
 宮城県書店商業組合  
 (書店組合 15 組合)

**教科書供給所**  
 北海道教科書供給所  
 群馬県教科書販売  
 神奈川県教科書販売  
 (教科書供給 3 社)

**一般**  
 インターテクノスフィア  
 オー・アイ・エム・センター  
 活字文化推進会議  
 カンダコーポレーション  
 共同印刷  
 共立速記印刷  
 近代美術  
 光陽メディア  
 光和コンピュータ  
 出版共同流通  
 大日本印刷  
 手島梱包輸送  
 天龍運輸  
 電通  
 トーハン従業員組合

**TOPPAN**  
 日販テクシード  
 日販ビジネスパートナーズ  
 日本アド  
 日本出版販売労働組合  
 日本図書普及  
 博報堂  
 藤川紙業  
 文化産業信用組合  
 三井住友銀行神田法人営業第一部  
 三菱UFJ銀行神田支社  
 三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社  
 八木書店  
 (一般 28 社)

**関係団体**  
 出版健康保険組合  
 日本児童図書出版協会  
 日本出版取次協会  
 日本書店商業組合連合会  
 (関係団体 4 団体)

(業種別内訳)  
 出版社 190 社  
 取次会社 10 社  
 書店 10 社  
 書店組合 15 組合  
 教科書供給 3 社  
 一般 28 社  
 関係団体 4 団体

以上、260 社

# 2024年度一般書店賛助会員(142社)

2025年3月31日現在

## 北海道・東北

### (北海道)

オカモト  
神田書店  
ダイヤ書房  
フジヤ書店  
マル五中尾書店

### (青森県)

伊吉書院  
成田本店  
よしのや本間

### (岩手県)

マルカン

### (宮城県)

ヤマト屋書店

### (山形県)

こまつ書店

### (福島県)

岩瀬書店

なにわ

MIDORI

レオクラブインターナショナル

## 関東

### (栃木県)

進駈堂販売

### (群馬県)

煥乎堂

### (千葉県)

三友社書店

未来屋書店

### (東京都)

NIC リテールズ

鳳書院

田島企画

東京旭屋書店

東京堂

東西哲学書院

春うららかな書房

フジライフ

ブックセンター滝山グループ

### (神奈川県)

井上鋼材

川上書店

サクラ書店

中村書店

文教堂グループホールディングス

## 甲信越

### (新潟県)

ひらせいとータルインテリアハウス

### (山梨県)

アーバン・クリエイト

天野書店

清文堂書店

卓示書店

柳正堂書店

### (長野県)

笠原書店

興文堂

西沢書店

平安堂

## 北陸・東海

### (富山県)

五島書店

山谷書店

清明堂書店

文苑堂書店

本の夢屋

明文堂プランナー

### (石川県)

うつのみや

大下書店

### (福井県)

勝木書店

カドヤ書店

高橋尚文堂

### (岐阜県)

ブックスアイオー

青原堂

林文堂

東文堂本店

### (静岡県)

島田書店

マルサン書店

吉見書店

### (愛知県)

近藤商店

三洋堂ホールディングス

正文館書店(岡崎市)

正文館書店(名古屋市)

青雲堂書店

精文館書店

ちくさ正文館

日新堂書店

福文堂

### (三重県)

新光堂書店

別所書店

**関西**

**(滋賀県)**

石岡教文堂  
サンミュージック  
ダイレクト・ショップ  
扶桑書店

**(京都府)**

犬石商店  
井上文鴻堂  
カスガ東林書房  
桂書房  
鴻宝堂川勝書店

タケダ書店  
福島文進堂

萬年堂

村田舞鶴堂

山城書店

若林書店

**(大阪府)**

エムシーアイ  
栗林書房  
ブックファースト  
松原書店

**(兵庫県)**

うかいや  
キクヤ図書販売  
神陵文庫

安井書店

**(奈良県)**

啓林堂書店

**(和歌山県)**

宇治書店  
多屋孫書店

**中国・四国**

**(鳥取県)**

杉島書店

**(岡山県)**

片岡書店  
広谷屋

山田快進堂

**(広島県)**

金正堂  
啓文社  
廣文館  
双人社書店  
中国堂書店  
広島積善館  
古川書店

**(山口県)**

良文堂書店

**(徳島県)**

井上書房  
平惣

港興業

**(香川県)**

宮脇書店  
熊野書店  
松本書店

**(愛媛県)**

篠崎書店  
明屋書店

**(高知県)**

金高堂書店  
富士書房

**九州・沖縄**

**(福岡県)**

金山堂  
きんぶん図書  
白石書店  
福岡金文堂  
ブックイン金進堂

中尾書店

**(長崎県)**

好文堂書店  
METRO PLUS

**(熊本県)**

青柳書店  
長崎書店

宮崎一心堂

**(大分県)**

晃星堂書店  
三光堂書店

**(宮崎県)**

岩切書店  
田中書店(宮崎市)  
田中書店(都城市)

**(鹿児島県)**

石井書店  
金海堂  
ブックセンターめいわ

文泉堂

**(沖縄県)**

山田書店  
大城書店

以上、142社



## 2024年度収支報告書及び財産目録

# 貸借対照表

2025年3月31日現在

(第34期)

(単位 円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1 流動資産			
現金	1,204,890	1,299,290	△ 94,400
普通預金	153,474,482	107,172,549	46,301,933
郵便振替	3,761,732	9,581,314	△ 5,819,582
未収金	45,992,038	79,573,254	△ 33,581,216
前払金	2,182,742	2,062,742	120,000
立替金	608,179	671,499	△ 63,320
流動資産合計	207,224,063	200,360,648	6,863,415
2 固定資産			
(1) 基本財産			
基本財産定期預金	300,000,000	300,000,000	0
基本財産合計	300,000,000	300,000,000	0
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	13,604,514	15,704,514	△ 2,100,000
積立特定資産	44,211,311	42,211,311	2,000,000
アドバイザーテキスト制作積立資産	4,000,000	2,000,000	2,000,000
業界課題特定資産	40,211,311	40,211,311	0
特定資産合計	57,815,825	57,915,825	△ 100,000
(3) その他固定資産			
電話加入権	20,000	20,000	0
借室敷金	9,636,640	9,636,640	0
保証金	200,000	200,000	0
その他固定資産合計	9,856,640	9,856,640	0
固定資産合計	367,672,465	367,772,465	△ 100,000
資産合計	574,896,528	568,133,113	6,763,415
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	32,073,316	21,927,937	10,145,379
前受金	6,121,500	7,040,280	△ 918,780
預り金	1,140,183	1,317,514	△ 177,331
流動負債合計	39,334,999	30,285,731	9,049,268
2 固定負債			
退職給付引当金	13,604,514	15,704,514	△ 2,100,000
アドバイザーテキスト制作引当金	4,000,000	2,000,000	2,000,000
業界課題引当金	40,211,311	40,211,311	0
固定負債合計	57,815,825	57,915,825	△ 100,000
負債合計	97,150,824	88,201,556	8,949,268
III 正味財産の部			
1 指定正味財産			
指定正味財産合計	300,000,000	300,000,000	0
2 一般正味財産			
正味財産合計	477,745,704	479,931,557	△ 2,185,853
負債及び正味財産合計	574,896,528	568,133,113	6,763,415

# 正味財産増減計算書

2024年4月1日から 2025年3月31日まで

(第34期)

(単位 円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	1,094,048	1,263,689	△ 169,641
モルガンスタンレーUFJ基本財産受取収益	990,816	1,170,000	△ 179,184
三井住友信託銀行基本財産受取収益	103,232	93,689	9,543
特定資産運用益	24,495	638	23,857
特定資産受取利息	24,495	638	23,857
受取入会金	20,000	160,000	△ 140,000
賛助受取入会金	20,000	160,000	△ 140,000
受取会費	50,653,000	49,080,000	1,573,000
賛助会員受取会費	50,653,000	49,080,000	1,573,000
事業収益	505,453,175	402,211,989	103,241,186
生涯学習事業収益	10,770,819	16,535,525	△ 5,764,706
読書アドバイザー養成講座助成金収益	700,000	1,000,000	△ 300,000
読書アドバイザー養成講座受講料収益	6,719,820	6,851,420	△ 131,600
読みきかせ講習会参加費収益	1,159,894	3,491,132	△ 2,331,238
読書アプローチ事業収益	1,106,325	1,201,045	△ 94,720
e-ラーニング事業収益	157,000	0	157,000
JPIC ONLINE事業収益	55,380	2,965,178	△ 2,909,798
本だなプロジェクト	872,400	1,026,750	△ 154,350
調査研究事業収益	66,757,683	22,803,338	43,954,345
店頭活性化取組収益	20,320,612	22,625,338	△ 2,304,726
業界課題解決のための調査・研究収益	46,437,071	178,000	46,259,071
情報提供事業収益	27,129,410	33,050,457	△ 5,921,047
機関誌購読料収益	27,129,410	33,050,457	△ 5,921,047
交流協力事業収益	21,384,517	21,636,616	△ 252,099
上野の森親子フェスタ事業収益	481,140	566,674	△ 85,534
地域読書環境整備事業収益	1,276,843	1,996,221	△ 719,378
書店大商談会事業収益	1,673,060	1,222,000	451,060
20歳の20冊事業収益	353,474	251,721	101,753
マンガ感想文コンクール事業収益	17,600,000	17,600,000	0
受託事業・業務協力事業収益	12,096,501	10,900,852	1,195,649
読書普及事業収益	0	201,045	△ 201,045
住友生命健康財団受託事業収益	6,420,920	5,452,700	968,220
造本コンクール受託事業収益	1,050,000	1,050,000	0
「お気に入りの一冊をあなたに」協力収益	4,625,581	4,197,107	428,474
出版コンテンツの海外発信事業収益	367,314,245	297,285,201	70,029,044
内閣府翻訳出版事業収益	14,340,090	4,950,000	9,390,090
国際問題研究所翻訳出版事業収益	38,247,314	67,569,314	△ 29,322,000
販売・権利許諾事業収益	5,221,384	6,344,908	△ 1,123,524
READ JAPAN PROJECT事業収益	225,837,065	211,499,779	14,337,286
著作権関連事業収益	7,630,803	6,921,200	709,603
受託事業益	76,037,589	0	76,037,589
受取補助金等	35,079,489	50,030,563	△ 14,951,074
受取特殊法人助成金等	35,079,489	50,030,563	△ 14,951,074
受取寄付金	3,910,000	2,500,000	1,410,000
会員受取寄付金	3,910,000	2,500,000	1,410,000
雑収益	136,312	5,099,420	△ 4,963,108
受取利息	67,486	1,345	66,141
雑収益	68,826	5,098,075	△ 5,029,249
経常収益計	596,370,519	510,346,299	86,024,220

(単位 円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
(2) 経常費用			
事業費	589,430,821	487,268,011	102,162,810
生涯学習事業費	47,788,510	59,279,457	△ 11,490,947
読書アドバイザーテキスト制作事業費	2,000,000	1,728,312	271,688
読書アドバイザー養成講座事業費	11,069,503	11,199,564	△ 130,061
JRAC関連事業費	1,044,977	1,970,858	△ 925,881
読みきかせ講習会事業費	7,582,309	19,709,475	△ 12,127,166
読書アプローチ事業費	388,360	587,271	△ 198,911
JPIC ONLINE事業費	2,887,772	5,543,270	△ 2,655,498
本だなプロジェクト事業費	4,207,676	5,801,650	△ 1,593,974
e-ラーニング事業費	3,448,386	1,035,299	2,413,087
管理費関係分生涯学習事業費	15,159,527	11,703,758	3,455,769
調査研究事業費	119,240,779	68,956,554	50,284,225
出版業界諸課題対策事業費	47,843,390	5,200,836	42,642,554
店頭活性化取組事業費	59,213,539	54,978,088	4,235,451
社会貢献事業費	819,180	0	819,180
管理費関係分調査研究事業費	11,364,670	8,777,630	2,587,040
情報提供事業費	46,515,102	36,463,307	10,051,795
ホームページ運用費	2,272,886	2,935,931	△ 663,045
機関誌発行事業費	39,694,570	30,016,339	9,678,231
管理費関係分情報提供事業費	4,547,646	3,511,037	1,036,609
交流協力事業費	37,494,338	31,793,108	5,701,230
地域読書環境整備事業費	2,916,978	2,565,332	351,646
上野の森親子ブックフェスタ事業費	2,208,939	3,202,590	△ 993,651
書店大商談会事業費	402,802	665,844	△ 263,042
20歳の20冊事業費	3,783,959	2,140,282	1,643,677
マンガ感想文コンクール事業費	19,839,224	16,781,882	3,057,342
管理費関係分交流協力事業費	8,342,436	6,437,178	1,905,258
受託協力事業費	17,656,077	15,016,156	2,639,921
読書普及協力事業費	1,980	187,875	△ 185,895
住友生命健康財団受託事業費	4,236,392	3,719,802	516,590
造本コンクール受託事業費	2,764,480	2,797,347	△ 32,867
「お気に入りの一冊をあなたに」事業費	4,589,625	3,629,768	959,857
管理費関係分受託協力事業費	6,063,600	4,681,364	1,382,236
出版コンテンツの海外発信事業費	320,736,015	275,759,429	44,976,586
内閣府翻訳出版事業費	6,068,163	18,828,920	△ 12,760,757
国際問題研究所翻訳出版事業費	40,626,025	22,965,364	17,660,661
販売・権利許諾事業費	5,316,978	8,065,048	△ 2,748,070
READ JAPAN PROJECT事業費	206,357,712	194,934,513	11,423,199
著作権関連事業費	13,010,996	13,408,718	△ 397,722
受託事業費	26,615,524	0	26,615,524
管理費関係分受託協力事業費	22,740,617	17,556,866	5,183,751
管理費	9,125,551	6,150,892	2,974,659
給料手当	2,548,256	2,081,177	467,079
役員報酬	1,341,625	1,296,250	45,375
給料手当・賞与	1,169,880	725,725	444,155
通勤交通費	36,751	59,202	△ 22,451
退職給付費用	190,000	630,000	△ 440,000
福利厚生費	211,295	210,698	597
健康保険・厚生年金保険料・その他福利費	211,295	210,698	597
会議費	22,793	14,141	8,652
理事会費・総会費	22,793	14,141	8,652
旅費交通費	4,995	2,305	2,690
役職員旅費交通費	4,995	2,305	2,690

(単位 円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
通信運搬費	237,293	203,456	33,837
郵便料・電話料・運搬費	237,293	203,456	33,837
消耗什器備品費	149,433	119,277	30,156
消耗什器備品費	144,231	118,644	25,587
事務用品費	5,202	633	4,569
印刷製本費	223,712	143,873	79,839
コピー機維持費・印刷費	223,712	143,873	79,839
新聞図書費	17,718	16,314	1,404
新聞購読料・図書資料費	17,718	16,314	1,404
光熱水料費	135,862	132,319	3,543
電気料・水道料	135,862	132,319	3,543
賃借料	1,517,688	1,517,688	0
事務室他賃借料	1,239,636	1,239,636	0
事務室他共益費	278,052	278,052	0
リース料	226,629	221,680	4,949
事務機他リース料	226,629	221,680	4,949
支払手数料	1,684,591	452,912	1,231,679
振込手数料	50,932	22,165	28,767
その他手数料	1,633,659	430,747	1,202,912
租税公課	1,503,660	186,785	1,316,875
消費税	1,487,650	160,620	1,327,030
法人都民税	7,000	7,000	0
収入印紙	1,795	435	1,360
利息(国税・地方税)	7,215	18,730	△ 11,515
研修費	17,400	0	17,400
文字活字文化推進機構会費	100,000	100,000	0
雑費	334,226	118,267	215,959
諸雑費	334,226	118,267	215,959
役員退職金	0	0	0
経常費用計	598,556,372	493,418,903	105,137,469
(3) 経常外費用			
経常外収益			
経常外収益計			0
経常外費用	0	0	0
予備費	0	0	0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 2,185,853	16,927,396	△ 19,113,249
一般正味財産期首残高	179,931,557	163,004,161	16,927,396
一般正味財産期末残高	177,745,704	179,931,557	△ 2,185,853
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	300,000,000	300,000,000	0
指定正味財産期末残高	300,000,000	300,000,000	0
II 正味財産期末残高	477,745,704	479,931,557	△ 2,185,853

# 財 産 目 録

2025年3月31日現在  
(第34期)

(単位 : 円)

科 目	金 額	金 額
<b>I 資産の部</b>		
1 流動資産		
現 金 現金手許有高	1,204,890	
普通預金 みずほ銀行九段支店	38,411,344	
普通預金 みずほ銀行九段支店	12,987,813	
普通預金 三菱UFJ銀行神保町支店	1,707,918	
普通預金 三菱UFJ銀行神田支店	52,714,873	
普通預金 三井住友銀行神田支店	2,558,449	
普通預金 りそな銀行九段支店	302,148	
普通預金 文化産業信用組合本店	44,791,937	
郵便振替	3,761,732	
未 収 金 財務諸表に対する注記5 参照	45,992,038	
前 払 金 4月分借室料・共益費他	2,182,742	
立 替 金 JRAC経費他	608,179	
流動資産合計		207,224,063
2 固定資産		
基本財産引当額		
有価証券 東京電力パワーグリッド社債	100,000,000	
有価証券 東京電力パワーグリッド社債	100,000,000	
有価証券 三井住友信託銀行 合同運用指定金銭信託	100,000,000	
基本財産合計		300,000,000
特定資産		
退職給付引当資産 文化産業信用組合本店	11,084,514	
退職給付引当資産 みずほ銀行九段支店	2,520,000	
業界課題取組準備金 三井住友銀行神田支店	40,211,311	
アドバイザーテキスト改訂引当特定預金 文化産業信用組合本店	4,000,000	
特定資産合計		57,815,825
その他の固定資産		
電 話 加入 権	20,000	
借 室 敷 金 (株)一ツ橋ビルマネージメント 宛	9,636,640	
保 証 金 日販アイ・ピー・エス	200,000	
その他の固定資産合計		9,856,640
固定資産合計		367,672,465
資 産 合 計		574,896,528
<b>II 負債の部</b>		
1 流動負債		
未 払 金 「この本読んで！」制作費他	32,073,316	
前 受 金 「この本読んで！」定期購読料として	6,121,500	
預 り 金 職員他に対する源泉所得税・住民税、社会保険料など	1,140,183	
流動負債合計		39,334,999
2 固定負債		
退職給付引当金	13,604,514	
アドバイザーテキスト制作引当金	4,000,000	
業界課題引当金	40,211,311	
固定負債合計		57,815,825
負 債 合 計		97,150,824
正 味 財 産		477,745,704

## 収支計算書

2024年4月1日から 2025年3月31日まで  
(第34期)

(単位 円)

科 目	予算額	決算額	差 異	率(%)
I 事業活動収支の部				
1 事業活動収入				
基本財産運用収入	1,300,000	1,094,048	△ 205,952	84.2
基本財産運用利息	1,300,000	1,094,048	△ 205,952	
特定資産運用益	1,000	23,622	22,622	2,362.2
特定資産受取利息	1,000	23,622	22,622	
受取入会金	200,000	20,000	△ 180,000	10.0
賛助会員受取入会金	200,000	20,000	△ 180,000	10.0
受取会費収入	56,300,000	50,653,000	△ 5,647,000	90.0
賛助会員受取会費	50,300,000	48,100,000	△ 2,200,000	
書店一般会員会費	6,000,000	2,553,000	△ 3,447,000	
事業収入	480,751,000	505,453,175	24,702,175	105.1
生涯学習事業収入	18,180,000	10,770,819	△ 7,409,181	59.2
読書アドバイザー養成講座助成金収入	700,000	700,000	0	
読書アドバイザー養成講座受講料収入	6,532,000	6,719,820	187,820	
読みきかせサポート講習会参加費収入	6,235,000	1,159,894	△ 5,075,106	
読書アプローチ事業収入	1,000,000	1,106,325	106,325	
JPIC ONLINE事業収入	800,000	55,380	△ 744,620	
e-ラーニング事業収入	1,500,000	157,000	△ 1,343,000	
本だなプロジェクト事業収入	1,413,000	872,400	△ 540,600	
調査研究事業収入	24,068,000	66,757,683	42,689,683	
業界課題解決のための調査・研究収入	14,068,000	66,757,683	52,689,683	
社会貢献活動収入	10,000,000	0	△ 10,000,000	
情報提供事業収入	26,817,000	27,129,410	312,410	101.2
機関誌購読料収入	26,817,000	27,129,410	312,410	
交流協力事業収入	23,951,000	21,384,517	△ 2,566,483	89.3
地域読書環境整備事業収入	2,291,000	1,276,843	△ 1,014,157	
20歳の20冊事業収入	380,000	353,474	△ 26,526	
上野の森ブックフェスタ事業収入	500,000	481,140	△ 18,860	
書店大商談会受託事業収入	1,680,000	1,673,060	△ 6,940	
マンガ感想文コンクール収入	19,100,000	17,600,000	△ 1,500,000	
受託業務協力事業収入	10,996,000	12,096,501	1,100,501	110.0
読書普及事業収入	200,000	0	△ 200,000	
住友生命健康財団受託事業収入	5,671,000	6,420,920	749,920	
造本コンクール受託事業収入	1,050,000	1,050,000	0	
「お気に入りの一冊をあなたに」協力収入	4,075,000	4,625,581	550,581	
出版コンテンツの海外発信事業	376,739,000	367,314,245	△ 9,424,755	97.5
内閣府翻訳出版事業収入	12,166,000	14,340,090	2,174,090	
国際問題研究所翻訳出版事業収入	37,954,000	38,247,314	293,314	
READ JAPAN PROJECT収入	233,759,000	225,837,065	△ 7,921,935	
著作権関連事業収入	6,160,000	7,630,803	1,470,803	
販売・権利許諾事業収入	6,700,000	5,221,384	△ 1,478,616	
受託事業	80,000,000	76,037,589	△ 3,962,411	
受取補助金等	49,999,000	35,079,489	△ 14,919,511	70.2
受取特殊法人等助成金	49,999,000	35,079,489	△ 14,919,511	
受取寄付金	1,500,000	3,910,000	2,410,000	
会員受取寄付金	1,500,000	3,910,000	2,410,000	
雑収入	119,000	136,312	17,312	114.5
受取利息	1,000	67,486	66,486	
雑 収 入	118,000	68,826	△ 49,174	
事業活動収入計	590,170,000	596,369,646	6,199,646	101.1

(単位 円)

科	目	予 算 額	決 算 額	差 異	率 (%)
2	事業活動支出				
	事業費支出	602,021,800	585,720,821	△ 16,300,979	97.3
	生涯学習事業費支出	47,629,400	45,408,510	△ 2,220,890	95.3
	読書アドバイザー養成講座運営事業費支出	11,680,000	11,069,503	△ 610,497	
	J R A C 関係事業費支出	1,236,000	1,044,977	△ 191,023	
	読みきかせサポート事業費支出	9,583,000	7,582,309	△ 2,000,691	
	読書アプローチ事業費支出	0	388,360	388,360	
	JPIC ONLINE事業費支出	3,953,000	2,887,772	△ 1,065,228	
	e-ラーニング事業費支出	1,200,000	3,448,386	2,248,386	
	本だなプロジェクト事業費支出	6,033,000	4,207,676	△ 1,825,324	
	管理費関係分生涯学習事業費支出	13,944,400	14,779,527	835,127	
	調査研究事業費支出	77,276,300	118,955,779	41,679,479	153.9
	出版業界諸課題対策事業費支出	58,918,000	107,056,929	48,138,929	
	社会貢献事業費支出	7,900,000	819,180	△ 7,080,820	
	管理費関係分調査研究事業費支出	10,458,300	11,079,670	621,370	
	情報提供事業費支出	37,560,320	46,401,102	8,840,782	123.5
	ホームページ運用費支出	2,300,000	2,272,886	△ 27,114	
	機関誌発行事業費支出	31,077,000	39,694,570	8,617,570	
	管理費関係分情報提供事業費支出	4,183,320	4,433,646	250,326	
	交流協力事業費支出	45,481,420	37,285,338	△ 8,196,082	82.0
	地域読書環境整備事業費支出	8,256,000	2,916,978	△ 5,339,022	
	20歳の20冊協力事業費支出	4,458,000	3,783,959	△ 674,041	
	上野の森親子フェスタ事業費支出	2,094,000	2,208,939	114,939	
	書店大商談会受託事業費支出	360,000	402,802	42,802	
	マンガ感想文コンクール事業費支出	22,644,000	19,839,224	△ 2,804,776	
	管理費関係分交流協力事業費支出	7,669,420	8,133,436	464,016	
	受託業務協力事業費支出	16,731,760	17,504,077	772,317	104.6
	読書普及協力事業費支出	180,000	1,980	△ 178,020	
	住友生命受託事業費支出	4,045,000	4,236,392	191,392	
	造本コンクール受託事業費支出	2,628,000	2,764,480	136,480	
	「お気に入りの一冊をあなたに」事業費支出	4,301,000	4,589,625	288,625	
	管理費関係分受託協力事業費	5,577,760	5,911,600	333,840	
	出版コンテンツの海外発信事業費支出	377,342,600	320,166,015	△ 57,176,585	84.8
	内閣府翻訳出版事業費支出	7,351,000	6,068,163	△ 1,282,837	
	国際問題研究所翻訳出版事業費支出	36,228,000	40,626,025	4,398,025	
	READ JAPAN PROJECT 事業費支出	220,102,000	206,357,712	△ 13,744,288	
	著作権関連事業費支出	12,132,000	13,010,996	878,996	
	販売・権利許諾事業費支出	8,575,000	5,316,978	△ 3,258,022	
	受託事業費支出	72,038,000	26,615,524	△ 45,422,476	
	管理費関係分出版コンテンツ事業費支出	20,916,600	22,170,617	1,254,017	
	管理費支出	10,972,200	12,935,551	1,963,351	117.9
	給与手当支出	2,517,000	2,548,256	31,256	
	役員報酬	1,296,000	1,341,625	45,625	
	給料手当・賞与	1,178,000	1,169,880	△ 8,120	
	通勤交通費	43,000	36,751	△ 6,249	
	退職給付費用	4,000,000	4,000,000	0	
	福利厚生費支出	173,000	211,295	38,295	
	健保厚年保険料・その他福利厚生	173,000	211,295	38,295	
	会議費支出	24,000	22,793	△ 1,207	
	理事会費・総会費	24,000	22,793	△ 1,207	
	旅費交通費支出	5,000	4,995	△ 5	
	旅費交通費	5,000	4,995	△ 5	

(単位 円)

科 目	予 算 額	決 算 額	差 異	率 (%)
通信運搬費支出	262,000	237,293	△ 24,707	
郵便料・電話料・運搬費	262,000	237,293	△ 24,707	
消耗品費支出	125,000	149,433	24,433	
消耗什器備品費	40,000	144,231	104,231	
事務用品費	69,000	5,202	△ 63,798	
修繕費	16,000	0	△ 16,000	
印刷製本費支出	160,000	223,712	63,712	
コピー機維持費・印刷費	160,000	223,712	63,712	
新聞図書費支出	18,000	17,718	△ 282	
新聞図書費	18,000	17,718	△ 282	
光熱水料費支出	142,000	135,862	△ 6,138	
電気料・水道料	142,000	135,862	△ 6,138	
賃借料支出	1,518,000	1,517,688	△ 312	
賃借料	1,240,000	1,239,636	△ 364	
賃借共益費	278,000	278,052	52	
リース料支出	250,000	226,629	△ 23,371	
事務機他リース料	250,000	226,629	△ 23,371	
支払手数料支出	413,000	1,684,591	1,271,591	
振込手数料	41,000	50,932	9,932	
その他手数料	372,000	1,633,659	1,261,659	
租税公課支出	995,000	1,503,660	508,660	
消費税	985,500	1,487,650	502,150	
法人都民税	7,000	7,000	0	
収入印紙	1,000	1,795	795	
国税・地方税	1,500	7,215	5,715	
文字活字文化推進機構会費支出	100,000	100,000	0	
研修費	0	17,400	17,400	
雑費支出	270,200	334,226	64,026	
事業活動支出計	612,994,000	598,656,372	△ 14,337,628	97.7
事業活動収支差額	△ 22,824,000	△ 2,286,726	20,537,274	
II 投資活動収支の部				
1.投資活動収入				
退職預金取崩収入	4,000,000	4,000,873	873	
投資活動収入計	4,000,000	4,000,873	873	
2.投資活動支出				
基本財産引当資産取得支出	0	0	0	
業界課題取組準備金引当資産取得支出	0	0	0	
退職給付引当資産取得支出	2,600,000	1,900,000	△ 700,000	
アドバイザーテキスト制作引当資産取得支出	2,000,000	2,000,000	0	
投資活動支出計	4,600,000	3,900,000	△ 700,000	
投資活動収支増減額	△ 600,000	100,873	700,873	
III 予備費支出				
役員退職慰労金	0	0	0	
予備費収支差額	0	0	0	
当期収支差額	△ 23,424,000	△ 2,185,853	21,238,147	9.3
前期繰越収支差額	170,074,917	170,074,917	0	
次期繰越収支差額	146,650,917	167,889,064	21,238,147	114.5

## 財務諸表に対する注記(第34期)

### 1 重要な会計方針

#### (1) 引当金の計上基準

##### 退職給付引当金

従業員の退職給付に備えるため、当期末における退職給付債務に基づき、当期末において発生していると認められる額を計上している。

#### (2) リース取引の処理方法

##### ファイナンス・リース取引

リース物件の所有権が借主に移転すると認められる以外のファイナンス・リース物件については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっている。

#### (3) 消費税等の会計処理

消費税の会計処理は税込方式によっている。

### 2 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産	300,000,000	0	0	300,000,000
小 計	300,000,000	0	0	300,000,000
特定資産				
退職給付引当資産	15,704,514	1,900,000	4,000,000	13,604,514
積立特定資産	42,211,311	2,000,000	0	44,211,311
小 計	57,915,825	3,900,000	4,000,000	57,815,825
合 計	357,915,825	3,900,000	4,000,000	357,815,825

### 3 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

科 目	当期末残高	うち指定正味 財産からの充 当額	うち一般正味 財産からの充 当額	うち負債に対 応する額
基本財産				
有価証券	300,000,000	0	0	0
特定資産				
退職給付引当資産	15,704,514	0	1,900,000	0
積立特定引当資産	42,211,311	0	2,000,000	0
合 計	357,915,825	0	3,900,000	0

### 4 その他固定資産の取得価格、減価償却累計額及び当期末残高

その他固定資産の取得価格、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

科 目	取得価格	減価償却累計額	当期末残高
電話加入権	20,000	0	20,000
借室敷金	9,636,640	0	9,636,640
保証金	200,000	0	200,000
合 計	9,856,640	0	9,856,640

### 5 債権の債権金額、当期末残高及び当該債権の当期末残高

債権の債権金額、当期末残高及び当該債権の当期末残高は、次のとおりである。

科 目	債権金額	貸倒引当金の 当期末残高	債権当期末残高
未収金			
賛助会員会費	2,010,000	0	2,010,000
生涯学習事業収益	1,710	0	1,710
調査研究事業収益	7,700,000	0	7,700,000
情報提供事業収益	293,990	0	293,990
交流協力事業収益	1,661,155	0	1,661,155
受託協力事業収益	710,800	0	710,800
出版コンテンツの海外発信事業収益	32,600,383	0	32,600,383
千代田区助成金	1,014,000	0	1,014,000
合 計	45,992,038	0	45,992,038

## 財務諸表に対する注記(第34期)

### 6 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
助成金						
2024年度 子どもたちを物語の世界へ	国立青少年教育振興機構	0	811,986	0	811,986	一般正味財産
2024年度 サポーター講習会基礎編	国立青少年教育振興機構	0	999,596	0	999,596	
2024年度 サポーター講習会学びを深める編	国立青少年教育振興機構	0	1,078,253	0	1,078,253	
動画で学ぶ はじめての読みきかせ	授業目的公衆送信補償金等管理協会	0	648,543	0	648,543	
BOOK MEETS NEXT 2024	授業目的公衆送信補償金等管理協会	0	30,527,111	0	30,527,111	
マンガ感想文コンクール	千代田区	0	1,014,000	0	1,014,000	
合 計		0	35,079,489	0	35,079,489	

※「BOOK MEETS NEXT2024」事業の中に「はたちの20冊」事業、「本だなプロジェクト」事業の補助金を含む

### 7 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

内 容	金 額
経常収益への振替額	
基本財産受取利息	1,094,048
合 計	1,094,048

### 8 引当金の明細

(単位 円)

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	15,704,514	1,900,000	4,000,000	0	13,604,514
アドバイザーテキスト制作引当金	2,000,000	2,000,000	0	0	4,000,000
業界課題引当金	40,211,311	0	0	0	40,211,311

## 収支計算書に対する注記(第34期)

#### 1. 資金の範囲について

資金の範囲には、現金預金、未収金、前払金、立替金、仮払金、未払金、前受金、預り金を含めている。なお、前期末及び当期末残高は下記2に記載するとおりである。

#### 2. 次期繰越差額に含まれる資産及び負債の内訳

科 目	前 期 末 残 高	当 期 末 残 高
現 金 預 金	118,053,153	158,441,104
未 収 金	79,573,254	45,992,038
前 払 金	2,062,742	2,182,742
立 替 金	671,499	608,179
合 計	200,360,648	207,224,063
未 払 金	21,927,937	32,073,316
前 受 金	7,040,280	6,121,500
預 り 金	1,317,514	1,140,183
合 計	30,285,731	39,334,999
次期繰越収支差額	170,074,917	167,889,064

# 監査報告

2025年5月21日

一般財団法人出版文化産業振興財団

理事長 近藤敏貴 殿

監事 桶田大介



監事 能勢正幸



監事 平井茂



私たち監事は、第34期2024年4月1日から2025年3月31日までの事業年度の理事の職務の執行に関して、本監査報告を作成し、以下のとおり報告いたします。

## 1 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る事業報告及びその附属明細書、財産目録、計算関係書類（貸借対照表、正味財産増減計算書及びこれらの附属明細書）について検討いたしました。

## 2 監査の結果

### (1) 事業報告等の監査結果

- 一 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- 二 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

### (2) 計算関係書類及び附属明細書並びに財産目録の監査結果

計算関係書類及び附属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び正味財産増減の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

以上



## 2025 年度事業計画並びに予算

## 1. 生涯学習事業

### ①「JPIC 読書アドバイザー養成講座」第 32 期を開講

1993 年のスタート以来、「読書」と「生涯学習」を促進する人材の育成を目的として、毎年講座を開講している。今期は 8 月より開講、すべての講義を会場開催とし、グループディスカッションやワークショップを通じて受講生間の交流の機会を増やす。また修了生の希望者に聴講の機会を増やし、「学び直し」にも対応。

### ②JRAC の活動協力

修了者の自主運営組織である「JPIC 読書アドバイザークラブ (JRAC)」の活動をサポートする。第 7 回「親子で読んでほしい絵本大賞」等への協力も実施予定。

### ③絵本・読みきかせ・子どもの読書に関する各種読書講習会

「JPIC 読みきかせサポーター講習会」の基礎編を神奈川県、学びを深める編を東京都、「子どもたちを本の世界へ」を宮城県で各 1 回開催予定。これまでの 25 年間 550 回超の開催実績をベースに、内容を充実させ、子どもと本の出合いに尽力されている方の学びの場を提供する。さらに動画「やってみよう読みきかせ」（全 6 編）を自治体に普及し、地域で活躍する読みきかせボランティアの育成をはかる。

## 2. 調査研究事業

### ①出版業界諸課題の改善・解決に向け研究・検討

業界横断型組織として、さまざまな業界課題を解決するための調査・研究をおこない、出版業界が団結するための中心的な役割を担う。

「街の本屋さんを元気にして、日本の文化を守る議員連盟」では、第二次提言及び具体的な施策の実践をめざす。

また、経済産業省横断プロジェクトチームに協力し、「書店活性化プラン」を中心に補助金の獲得など書店支援を実現する。

「BOOK MEETS NEXT 2025」では、SARTRAS の助成を受けるほか、出版界からの協力・協賛を集め、多くの方々の知見や経験を生かした新たな取り組みを展開する。

## 3. 情報提供事業

### ①JPIC NEWSLETTER

賛助会員および関係各方面に JPIC 活動の報告・案内を目的に、月 1 回程度発行。

## ②WEB 情報発信ツール（ホームページ・SNS・メールマガジン）

事業の情報提供ツールとして活用。講座やイベント等の申し込みのWEB化を促進し、幅広い客層に対する利便性の向上をはかる。また、絵本・書籍・読書といった出版文化に関心の高い方へのメールマガジン登録14,000件を目標に促進。DM費の削減、顧客層の拡大をはかる。

## ③『この本読んで！』発行

季刊（第95～98号、6月・9月・12月・26年3月初旬）、約7,500部発行予定。「JPIC読みきかせサポーター講習会」「子どもたちを本の世界へ」での副読本としての使用やオンライン講座との連携のほか、「上野の森 親子ブックフェスタ」や絵本作家の原画展会場など販売機会を増やし、収益アップをめざす。

## 4. 交流協力事業

### ①地域読書環境整備事業

各自治体に「子育て支援・読書推進」をキーワードに協働のアピールをし、要請のある自治体の読書推進をサポートする。自治体とは包括契約を進め、事業の安定をめざす。

20冊の本を掲載した冊子『はたちの20冊』を制作。自治体を通じて配布し若者への読書推進をはかる。さらに採用自治体で講演会を開催する。

また読みきかせをスタートしたい人向けに動画で学ぶ「はじめての読みきかせ」を開催し、読みきかせボランティアの育成をはかる。

### ②「上野の森 親子ブックフェスタ」の開催

2025年5月4日～5日、昨年に続き台東区・上野恩賜公園および周辺施設にて「上野の森 親子ブックフェスタ2025」が開催された。

イベントテントでは、おはなし会や歌遊びなどを開催し、各出展者のブースでも連日多くの作家が訪れ、サイン会やおはなし会などを開催。さらに「被爆・終戦80年」の今年、広島の前爆投下の戦火にも耐え生き残った「被爆ピアノ」を会場内に展示し、ピアニストのジェイコブ・コーラーさんによる演奏会が行われ、多くの観客で賑わった。

80社が出展。2日間の売上は前年を上回る約4,150万円に上り、延べ約34,000人が来場した。子どもの読書推進会議、日本児童図書出版協会との三者共催事業。

### ③「書店商談会」への協力

第十四回「書店大商談会」（東京/11月4日）、「BOOK EXPO 2025」（大阪/11月11日）の事務局運営業務をJPICが受託して「BOOK MEETS NEXT 2025」の連携事業として開催協力をする。

#### ④マンガ感想文コンクール

「マンガを読んで豊かな感性を育んでもらいたい」との思いから全国の小中高校生を対象に実施。2025年度は文化庁・44都道府県3政令市教育委員会の後援名義、および多数のコミック出版社・出版関係団体の協力のもと、7月より募集開始。あらたにWEBでの応募受付を開始し、更なる規模の拡大をめざす。結果発表・授賞式は2026年3月予定。

#### ⑤本だなプロジェクト

SDGsの「貧困をなくそう」「質の高い教育をみんなに」の実現にむけて2022年度よりスタート。出版社、印刷会社の協力のもと、子ども食堂や無料塾、フリースクールなどに、本を地元の書店を通じて届ける。施設はJPICが制作した動画で読みきかせを学び、おはなし会を継続して開催する。

### 5. 受託事業・業務等

#### ①各社・団体の読書普及事業への協力

日本出版販売の書店での読みきかせ会「おはなしマラソン」、本を手渡す人材の育成のための講師派遣など、自治体・団体・企業の読書推進事業をサポート。

#### ②「スミセイおはなしひろば」への協力

住友生命健康財団主催。2地域／関東地区（東京都）、関西地区（滋賀県）の幼稚園・保育園・認定こども園を対象に、各地域35園程度おはなし会を実施。

#### ③「第58回 造本装幀コンクール」への協力

日本書籍出版協会と日本印刷産業連合会が主催の「第58回造本装幀コンクール」。2024年に初版発行された書籍が対象。162者308点の応募があり、6月3日に審査会を開催した。9月には神保町の出版クラブビル内のホールで授賞式、同ビルライブラリーで全出品作品の公開展示をおこなう。

#### ④「お気に入りの一冊をあなたへ 読書推せん文コンクール」への協力

博報堂教育財団が2020年度にスタートさせた「お気に入りの一冊をあなたへ 読書推せん文コンクール」。第5回もJPICは選考や入賞作品集の作成に協力し、子どもの読書推進の一翼を担う。

## 6. 出版コンテンツの海外発信事業

### ①内閣府 翻訳出版事業への協力

内閣府による「対日理解の促進に資する書籍の翻訳出版事業」に協力する。2025年度はこれまでJPICで英訳出版してきた日本の優れたノンフィクション書籍のうち5タイトルを、オープンアクセス化（電子書籍の形態で、インターネット上で誰もが無償で閲覧可能な状態にすること）とする。

### ②日本国際問題研究所 翻訳出版事業への協力

日本国際問題研究所の翻訳出版事業に協力する。政治・外交・歴史分野の書籍を英訳出版し、国内外の研究者・学生・読者に活用されるよう寄贈・販売をおこなう。

2025年度は、2024年度に英訳出版した *The Legacy of the Ryukyu Kingdom: An Okinawan History*（高良倉吉 著『琉球王国』）のスペイン語訳・ポルトガル語訳での出版や、*Examining Heisei Japan*『論文集 平成日本を振り返る』シリーズ第4弾の発行を予定。

### ③「READ JAPAN PROJECT」への協力

東京財団政策研究所が実施する「日本理解促進のための図書寄贈事業（READ JAPAN PROJECT）」（日本財団助成）に協力する。日本に関する英文図書を世界各国の図書館や研究機関に寄贈する。

なお、寄贈候補リストの増加に併せ物流や倉庫・出荷体制の構築をはかるとともに増々拡大する事業に対応するため、財団内での体制も強化していく。

### ④著作権関連事業への取り組み

2023年度よりJPICが事務局に加わり協力してきた「東京著作権説明会」。2025年度からは名称を「TOKYO RIGHTS MEETING」と改め、BOOK MEETS NEXTの一環イベントとしてJPIC内に推進部会を設置。JPIC主催、日本書籍出版協会・日本雑誌協会・日本出版取次協会共催、メディアドゥ特別協賛として運営を行う。助成金を活用して海外著作権ビジネスへのサポートを強化し、国内外からの参加者増加、規模の拡大と今後の国際ブックフェアへの準備を行う。

### ⑤「クリエイター等育成事業（マンガ分野）」への協力

令和5年度文化庁補正予算で決定した「クリエイター等育成事業（マンガ分野）」を受託し、マンガ家の海外進出をサポートする事業（プロジェクト名「MINT」）を実施。昨年度はマンガ家6名、マンガ編集者5名の育成対象者を決定。今年度は国内外のアドバイザーが育成対象者との個別面談を通してサポートしながら、以下の海外イベント等

に参加し、北米圏での認知度向上や出版を目指す。

・アニメ関連イベント「Anime Expo」(2025年7月3日～7月6日・米ロサンゼルス)

出展ブース内でMINTや各漫画家の紹介をパネル展示するほか、各漫画家作品の英語サンプル版冊子の配布、MINTや各漫画家の紹介動画のモニター上映などを予定。

・芸術系学校「California College of the Arts」(2025年7月11日・米カリフォルニア州サンフランシスコ)

育成対象者が講師となりサマーレクチャーを実施。

・コミック関連イベント「Cartoon Crossroads Columbus」(2025年9月18日～9月21日・米オハイオ州コロンバス)

出展ブース内で、MINTや各漫画家作品の紹介に加え、トークセッションやワークショップなどを予定。

・芸術系学校「Columbus College of Art & Design」(2025年9月18日～2026年1月18日・米オハイオ州コロンバス)

キャンパス内 Canzani Atrium (ギャラリー) にて MINT や各漫画家作品の紹介、日本の漫画メディアの変遷などについて展示。オープニングイベントにて CCAD で の学生との交流機会を検討中。

・「オハイオ州立大学 (東アジア研究センター)」(2025年9月18日～9月21日 米オハイオ州コロンバス)

日本関連授業内で、MINT 育成対象者とのコラボレーション授業を企画。小日向先生・かつしか先生にご自身のマンガの紹介や制作方法の説明等をしていただく企画を検討中。

# 収支予算書

2025年4月1日から 2026年3月31日まで  
(第35期)

(単位：円)

科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減
I 一般正味財産増減の部			
經常増減の部			
(1) 經常収益			
基本財産運用益	1,200,000	1,300,000	△ 100,000
基本財産運用利息	1,200,000	1,300,000	△ 100,000
特定資産運用益	50,000	1,000	49,000
特定資産受取利息	50,000	1,000	49,000
受取入金	200,000	200,000	0
賛助会員受取入金	200,000	200,000	0
受取会費	56,300,000	56,300,000	0
賛助会員受取会費	50,300,000	50,300,000	0
書店一般会員会費	6,000,000	6,000,000	0
事業収益	504,534,000	480,751,000	23,783,000
生涯学習事業収益	8,810,000	18,180,000	△ 9,370,000
読書アドバイザー養成講座助成金収益	700,000	700,000	0
読書アドバイザー養成講座受講料収益	6,280,000	6,532,000	△ 252,000
読みきかせ講習会参加費収益	830,000	6,235,000	△ 5,405,000
読書アプローチ事業収益	1,000,000	1,000,000	0
JPIC ONLINE事業収益	0	800,000	△ 800,000
eラーニング事業収益	0	1,500,000	△ 1,500,000
本だなプロジェクト事業収益	0	1,413,000	△ 1,413,000
調査研究事業収益	76,100,000	24,068,000	52,032,000
書店店頭活性化事業	22,000,000	14,068,000	7,932,000
社会貢献事業収益	10,000,000	10,000,000	0
業界活性化事業	39,600,000	0	39,600,000
eラーニング事業収益	4,500,000	0	4,500,000
情報提供事業収益	23,980,000	26,817,000	△ 2,837,000
機関誌購読料収益	23,980,000	26,817,000	△ 2,837,000
交流協力事業収益	23,910,000	23,951,000	△ 41,000
地域読書環境整備事業収益	1,060,000	2,291,000	△ 1,231,000
はたちの20冊事業収益	380,000	380,000	0
上野の森親子フェスタ事業収益	490,000	500,000	△ 10,000
書店大商談会受託事業収益	1,760,000	1,680,000	80,000
マンガ感想文コンクール事業収益	19,290,000	19,100,000	190,000
本だなプロジェクト事業収益	930,000	0	930,000
受託業務協力事業収益	15,000,000	10,996,000	4,004,000
読書普及事業収益	880,000	200,000	680,000
住友生命健康財団受託事業収益	5,750,000	5,671,000	79,000
造本装幀コンクール受託事業収益	1,250,000	1,050,000	200,000
博報堂教育財団協力事業収益	7,120,000	4,075,000	3,045,000
出版コンテンツの海外発信事業収益	356,734,000	376,739,000	△ 20,005,000
内閣府翻訳出版事業収益	14,212,000	12,166,000	2,046,000
国際問題研究所翻訳出版事業収益	19,500,000	37,954,000	△ 18,454,000
READ JAPAN PROJECT事業収益	258,322,000	233,759,000	24,563,000
著作権関連事業収益	14,000,000	6,160,000	7,840,000
販売・権利許諾事業収益	5,700,000	6,700,000	△ 1,000,000
受託事業収益	45,000,000	80,000,000	△ 35,000,000
受取補助金等	48,730,000	49,999,000	△ 1,269,000
受取特殊法人助成金	48,730,000	49,999,000	△ 1,269,000

(単位 円)

科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減
受取寄付金	1,500,000	1,500,000	0
会員受取寄付金	1,500,000	1,500,000	0
雑収益	170,000	119,000	51,000
受取利息	70,000	1,000	69,000
雑収益	100,000	118,000	△ 18,000
経常収益計	612,684,000	590,170,000	22,514,000
(2) 経常費用			
事業費	631,555,000	602,021,800	29,533,200
生涯学習事業費	38,053,000	47,629,400	△ 9,576,400
読書アドバイザー養成講座事業費	12,223,000	11,680,000	543,000
J R A C 関係事業費	1,229,000	1,236,000	△ 7,000
読み聞かせサポート事業費	9,285,000	9,583,000	△ 298,000
読書アプローチ事業費	1,000,000	0	1,000,000
JPIC ONLINE事業費	0	3,953,000	△ 3,953,000
e-ラーニング事業費	0	1,200,000	△ 1,200,000
本だなプロジェクト事業費	0	6,033,000	△ 6,033,000
管理費関係分生涯学習事業費	14,316,000	13,944,400	371,600
調査研究事業費	133,343,500	77,276,300	56,067,200
書店店頭活性化事業(BOOK MEETS NEXT)費	60,708,000	0	60,708,000
社会貢献事業費	9,329,000	7,900,000	1,429,000
出版業界諸課題対策事業費	0	58,918,000	△ 58,918,000
業界活性化事業	46,871,000	0	46,871,000
e-ラーニング事業費	5,698,000	0	5,698,000
管理費関係分調査研究事業費	10,737,500	10,458,300	279,200
情報提供事業費	36,840,400	37,560,320	△ 719,920
ホームページ運用費	2,788,000	2,300,000	488,000
機関誌発行事業費	29,758,000	31,077,000	△ 1,319,000
管理費関係分情報提供事業費	4,294,400	4,183,320	111,080
交流協力事業費	38,856,900	45,481,420	△ 6,624,520
地域読書環境整備事業費	2,309,000	8,256,000	△ 5,947,000
はたちの20冊事業費	3,769,000	4,458,000	△ 689,000
上野の森親子フェスタ事業費	1,342,000	2,094,000	△ 752,000
書店大商談会受託事業費	454,000	360,000	94,000
マンガ感想文コンクール事業費	19,801,000	22,644,000	△ 2,843,000
本だなプロジェクト事業費	3,308,000	0	3,308,000
管理費関係分交流協力事業費	7,873,900	7,669,420	204,480
受託業務協力事業費	22,308,200	16,731,760	5,576,440
読書普及協力事業費	1,363,000	180,000	1,183,000
住友生命健康財団受託事業費	5,547,000	4,045,000	1,502,000
造本装幀コンクール受託事業費	2,200,000	2,628,000	△ 428,000
博報堂教育財団協力事業費	7,472,000	4,301,000	3,171,000
管理費関係分交流協力事業費	5,726,200	5,577,760	148,440
出版コンテンツの海外発信事業	362,153,000	377,342,600	△ 15,189,600
内閣府翻訳出版事業費	6,350,000	7,351,000	△ 1,001,000
国際問題研究所翻訳出版事業費	11,240,000	36,228,000	△ 24,988,000
READ JAPAN PROJECT事業費	249,001,000	220,102,000	28,899,000
著作権関連事業費	19,641,000	12,132,000	7,509,000
販売・権利許諾事業費	4,931,000	8,575,000	△ 3,644,000
受託事業費	49,517,000	72,038,000	△ 22,521,000
管理費関係分情報提供事業費	21,473,000	20,916,600	556,400

(単位 円)

科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減
管理費	7,158,000	10,972,200	△ 3,814,200
給与手当	2,464,000	2,517,000	△ 53,000
役員報酬	1,296,000	1,296,000	0
給料手当・賞与	1,125,000	1,178,000	△ 53,000
通勤交通費	43,000	43,000	0
福利厚生費	122,500	173,000	△ 50,500
健保厚年保険料・その他福利厚生	122,500	173,000	△ 50,500
退職給付費	232,500	4,000,000	△ 3,767,500
会議費用	28,000	24,000	4,000
理事会費・総会費	28,000	24,000	4,000
その他委員会費	0	0	0
旅費交通費	5,000	5,000	0
旅費交通費	5,000	5,000	0
通信運搬費	200,000	262,000	△ 62,000
郵便料・電話料・運搬費	200,000	262,000	△ 62,000
消耗品費	160,000	125,000	35,000
消耗什器備品費	74,000	40,000	34,000
事務用品費	70,000	69,000	1,000
修繕費	16,000	16,000	0
印刷製本費	160,000	160,000	0
コピー機維持費・印刷費	160,000	160,000	0
新聞図書費	18,000	18,000	0
新聞図書費	18,000	18,000	0
光熱水料費	140,000	142,000	△ 2,000
電気料・水道料	140,000	142,000	△ 2,000
賃借料	1,518,000	1,518,000	0
賃借料	1,240,000	1,240,000	0
賃借共益費	278,000	278,000	0
リース料	250,000	250,000	0
事務機他リース料	250,000	250,000	0
支払手数料	400,000	413,000	△ 13,000
振込手数料	40,000	41,000	△ 1,000
その他手数料	360,000	372,000	△ 12,000
租税公課	1,200,000	995,000	205,000
消費税	1,190,500	985,500	205,000
法人都民税	7,000	7,000	0
収入印紙	1,000	1,000	0
国税・地方税	1,500	1,500	0
文字活字文化推進機構会費	100,000	100,000	0
研修費	10,000	0	10,000
雑費	150,000	270,200	△ 120,200
経常費用計	638,713,000	612,994,000	25,719,000
経常収支差額	△26,029,000	△ 22,824,000	△ 3,205,000

(単位 円)

科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減
II 投資活動収支の部			
(1) 投資活動収入			
業界課題取組準備金引当資産取崩収入	0	0	0
基本財産引当資産取崩収入	0	0	0
退職給付引当資産取崩収入	2,400,000	4,000,000	△ 1,600,000
アドバンステキスト制作引当資産取崩収入	0	0	0
投資活動収入計	2,400,000	4,000,000	△ 1,600,000
(2) 投資活動支出			0
基本財産引当資産取得支出	0	0	0
業界課題取組準備金引当資産取得支出	0	0	0
退職給付引当資産取得支出	2,000,000	2,600,000	△ 600,000
アドバンステキスト制作引当資産取得支出	2,000,000	2,000,000	0
投資活動支出計	4,000,000	4,600,000	△ 600,000
投資活動収支増減額	△ 1,600,000	△ 600,000	△ 1,000,000
III 予備費支出	0	0	0
当期収支差額	△ 27,629,000	△ 23,424,000	△ 4,205,000
前期繰越収支差額	167,889,064	170,074,917	△ 2,185,853
次期繰越収支差額	140,260,064	146,650,917	△ 6,390,853

## 財団案内図

- 名称 一般財団法人出版文化産業振興財団  
■所在地 〒101-0051  
東京都千代田区神田神保町2丁目2番地30 共同ビル神保町4階  
TEL.03-5211-7282 FAX.03-5211-7285  
<https://www.jp-pic.or.jp/>



## 交通

- 神保町駅 A3 出口 徒歩 1 分 (地下鉄/半蔵門線 都営/新宿線・三田線)  
水道橋駅 東出口 徒歩 7 分 (JR/総武線・中央線)

一般財団法人出版文化産業振興財団  
定 款

# 一般財団法人出版文化産業振興財団 定款

## 第1章 総則

(名称)

第1条 この法人は、一般財団法人出版文化産業振興財団（英文名 Japan Publishing Industry Foundation for Culture。略称「JPIC」）と称する。

(事務所)

第2条 この法人は、主たる事務所を東京都千代田区に置く。

2 この法人は、理事会の決議によって従たる事務所を必要な地に置くことができる。

## 第2章 目的及び事業

(目的)

第3条 この法人は、出版文化産業及び読書活動に係る生涯学習の推進、出版文化産業及び読書活動に関する調査及び研究、人材育成、情報の収集及び提供等を行うことにより同産業の振興を図るとともに、読書活動の推進をはかることにより、我が国経済社会の健全な発展・国民の生活文化の向上・青少年の健全育成に寄与することを目的とする。

(事業)

第4条 この法人は、前条の目的に資するため、次の事業を行う。

- (1) 出版文化産業及び読書活動に係る生涯学習の推進
- (2) 出版文化産業及び読書活動に関する調査及び研究
- (3) 出版文化産業及び読書活動に関する人材育成
- (4) 出版文化産業及び読書活動に関する情報収集及び提供
- (5) 出版文化産業及び読書活動に関する内外関係機関等との交流及び協力
- (6) 前各号に掲げるもののほか、本財団の目的を達成するために必要な事業

2 前項の事業は、日本全国及び海外において行うものとする。

## 第3章 資産及び会計

(資産の構成)

第5条 この法人の目的である事業を行うために不可欠な財産は、この法人の基本財産とする。

2 基本財産は、この法人の目的を達成するために善良な管理者の注意をもって管

理しなければならず、基本財産の一部を処分しようとするとき及び基本財産から除外しようとするときは、あらかじめ理事会及び評議員会の承認を得なければならない。

(事業年度)

第 6 条 この法人の事業年度は、毎年 4 月 1 日から翌年 3 月 31 日までとする。

(事業報告及び決算)

第 7 条 事業報告書及び決算については、毎事業年度終了後、理事長が次の書類を作成し、監事の監査を受けた上で、理事会の承認を経て、定時評議員会に提出し、第 1 号及び第 2 号の書類についてはその内容を報告し、第 3 号から第 5 号までの書類については承認を受けなければならない。

- (1) 事業報告
  - (2) 事業報告の附属明細書
  - (3) 貸借対照表
  - (4) 損益計算書（正味財産増減計算書）
  - (5) 貸借対照表及び損益計算書（正味財産増減計算書）の附属明細書
- 2 前項の書類のほか、監査報告を主たる事務所に 5 年間備え置くとともに、定款を主たる事務所に備え置くものとする。
- 3 この法人は、剰余金の分配を行うことができない。

#### 第 4 章 評議員

(評議員)

第 8 条 この法人に評議員 10 名以上 15 名以内を置く。

(評議員の選任及び解任)

第 9 条 評議員の選任及び解任は、評議員会の決議をもって行う。

(任 期)

- 第 10 条 評議員の任期は、選任後 4 年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時までとする。
- 2 任期満了前に退任した評議員の補欠として選任された評議員の任期は、退任した評議員の任期の満了する時までとする。
- 3 第 8 条に定める評議員の員数が欠けた場合には、任期の満了又は辞任により退任した評議員は、新たに選任された者が就任するまで、なお評議員としての権利義務を有する。

(評議員に対する報酬)

第 11 条 評議員の報酬は、無報酬とする。

## 第5章 評議員会

### (構成)

第12条 評議員会は、すべての評議員をもって構成する。

### (権限)

第13条 評議員会は、次の事項について決議する。

- (1) 理事及び監事の選任又は解任
- (2) 理事及び監事の報酬等の額
- (3) 貸借対照表及び損益計算書（正味財産増減計算書）並びにこれらの附属明細書の承認
- (4) 評議員に対する報酬等の支給の基準
- (5) 定款の変更
- (6) 残余財産の処分
- (7) 基本財産の処分又は除外の承認
- (8) その他評議員会で決議するものとして法令又はこの定款で定められた事項

### (開催)

第14条 この法人の評議員会は、定時評議員会及び臨時評議員会とする。定時評議員会は、毎事業年度の終了後3ヶ月以内に開催し、臨時評議員会は、必要に応じて開催する。

### (召集)

第15条 評議員会は、法令に別段の定めがある場合を除き、理事会の決議に基づき理事長が召集する。

2 評議員は、理事長に対し、評議員会の目的である事項及び召集の理由を示して、評議員会の招集を請求することができる。

### (決議)

第16条 評議員会の決議は、評議員（決議について特別の利害関係を有する評議員を除く。）の過半数が出席し、その過半数をもって行う。

2 前項の規定にかかわらず、次の決議は、評議員（決議について特別の利害関係を有する評議員を除く。）の3分の2以上に当たる多数を持って行う。

- (1) 監事の解任
- (2) 評議員に対する報酬等の支給の基準
- (3) 定款の変更
- (4) 基本財産の処分又は除外の承認
- (5) その他法令で定められた事項

### (決議の省略)

第17条 理事が、評議員会の目的である事項について提案した場合において、その提案

について、議決に加わることのできる評議員の全員が書面又は電磁的記録により同意の意思表示をしたときは、その提案を可決する旨の評議員会の決議があったものとみなす。

(報告の省略)

第 18 条 理事が、評議員の全員に対し、評議員会に報告すべき事項を通知した場合において、その事項を評議員会に報告することを要しないことについて、評議員の全員が書面又は電磁的記録により同意の意思表示をしたときは、その事項の評議員会への報告があったものとみなす。

(議事録)

第 19 条 評議員会の議事については、法令で定めるところにより議事録を作成し、議長並びに出席評議員及び理事の各 1 名がこれに記名押印するものとする。

## 第 6 章 役員等

(役員)

第 20 条 この法人に次の役員を置く。

- (1) 理事 10 名以上 20 名以内
- (2) 監事 3 名以内
- 2 理事のうち 1 名を理事長とし、4 名以内を副理事長、1 名を専務理事、4 名以内を常務理事、2 名以内を業務執行理事とすることができる。
- 3 前項の理事長をもって、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律上の代表理事とする。

(役員を選任)

第 21 条 理事及び監事は、評議員会の決議によって選任する。

- 2 理事長及び、副理事長、専務理事、常務理事は、理事会の決議によって理事の中から選定する。
- 3 一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第 91 条第 1 項第 2 号に定める業務執行理事は理事会の決議によって理事の中から選定し、うち 1 名は専務理事とする。

(理事の職務及び権限)

第 22 条 理事は理事会を構成し、法令及びこの定款で定めるところにより、職務を執行する。

- 2 理事長は、この法人を代表し、法人の業務を執行し、専務理事及びその他の業務執行理事は、理事会において別の定めるところにより、この法人の業務を分担執行する。
- 3 理事長、専務理事及びその他の業務執行理事は、毎事業年度に 4 ヶ月を超える

間隔で2回以上、自己の職務の執行の状況を理事会に報告しなければならない。

(監事の職務及び権限)

- 第23条 監事は、理事の職務の執行を監査し、法令で定めるところにより、監査報告を作成する。
- 2 監事は、いつでも、理事及び使用人に対して事業の報告を求め、この法人の業務及び財産の状況の調査をすることができる。

(役員任期)

- 第24条 理事の任期は、選任後2年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時までとする。
- 2 監事の任期は、選任後2年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時までとする。
- 3 補欠として選任された理事又は監事の任期は、前任者の任期の満了するときまでとする。
- 4 理事又は監事は、第20条に定める定数に足りなくなるときは、辞任又は任期満了後においても、新たに選任された者が就任するまでは、なお理事又は監事としての権利義務を有する。

(役員改選)

- 第25条 理事及び監事が次のいずれかに該当するときは、評議員会の決議によって解任することができる。
- (1) 職務上の義務に違反し、又は職務を怠ったとき。
- (2) 心身の故障のため、職務の執行に支障があり、又はこれに堪えないとき。

(報酬等)

- 第26条 理事及び監事は、無報酬とする。ただし、常勤の理事及び監事に対しては、評議員会において別に定める総額の範囲内で、評議員会において別に定める報酬等の支給の基準に従って算定した額を、報酬等として支給することができる。

(役員損害賠償責任の免除)

- 第27条 この法人は、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第198条において準用する同法第114条第1項の規定により、理事又は監事が任務を怠ったことによる損害賠償責任を、法令に規定する額を限度として理事会の決議により免除することができる。

(外部役員責任限定契約)

- 第28条 この法人は、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第198条において準用する同法第115条第1項の規定により、外部理事又は外部監事との間に、任務を怠ったことによる損害賠償責任の限定契約を締結することができる。
- なお、責任の限度額は、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第198条

において準用する同法第 113 条第 1 項の規定による最低責任限度額とする。

(顧問)

- 第 29 条 この法人に、顧問 5 人以内を置くことができる。
- 2 顧問は、学識経験者又はこの法人に功労のあった者のうちから、理事会の推薦により、理事長が委嘱する。また解任については理事会において決議する。
- 3 顧問は、この法人の運営に関して理事長の諮問に答え、又は理事長に対して意見を述べる。
- 4 顧問の任期は、選任後 2 年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時までとする。
- 5 顧問の報酬は無償とする。
- 6 顧問の選任及び解任は、理事会において決議する。

## 第 7 章 理事会

(構成)

- 第 30 条 理事会は、すべての理事で構成する。

(権限)

- 第 31 条 理事会は、次に掲げる職務を行う。
- (1) この法人の業務執行の決定
- (2) 理事の職務の執行の監督
- (3) 理事長及び業務執行理事の選定及び解職

(召集)

- 第 32 条 理事会は、理事長が招集する。
- 2 理事長が欠けたとき又は理事長に事故があるときは、各理事が理事会を招集する。
- 3 理事会を招集する者は、理事会の日時、場所、目的、その他必要な事項を記載した書面をもって、理事会の日の 1 週間前までに、各理事及び各監事に対してその通知を発しなければならない。
- 4 前項の規定にかかわらず、理事会は、理事及び監事の全員の同意があるときは、召集の手続きを経ることなく開催することができる。

(議長)

- 第 33 条 理事会の議長は、理事長とする。

(決議)

- 第 34 条 理事会の決議は、決議について特別の利害関係を有する理事を除く理事の過半数が出席し、その過半数をもって行う。

- 2 前項の規定にかかわらず、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第 197 条において準用する同法第 96 条の要件を満たしたときは、理事会の決議があったものとみなす。

(決議の省略)

- 第 35 条 理事が、理事会の決議の目的である事項について提案をした場合において、その提案について、議決に加わることのできる理事全員が書面又は電磁的記録により同意の意思表示をしたときは、その提案を可決する旨の理事会の決議があったものとみなすものとする。ただし、監事が異議を述べたときは、その限りではない。

(報告の省略)

- 第 36 条 理事又は監事が理事及び監事の全員に対し、理事会に報告すべき事項を通知した場合においては、その事項を理事会に報告することを要しない。
- 2 前項の規定は、第 22 条第 3 項の規定による報告には適用しない。

(議事録)

- 第 37 条 理事会の議事については、法令で定めるところにより、議事録を作成する。
- 2 出席した理事長及び監事は、前項の議事録に署名し、又は記名押印する。

## 第 8 章 定款の変更及び解散

(定款の変更)

- 第 38 条 この法人は、評議員会の決議によって定款を変更することができる。
- 2 前項の規定は、この定款の第 3 条、第 4 条及び第 9 条についても適用する。

(解 散)

- 第 39 条 この法人は、基本財産の滅失によるこの法人の目的である事業の成功の不能その他法令で定められた事由により解散する。
- 2 この法人が清算をする場合において有する残余財産は、評議員会の決議を経て、公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律第 5 条第 17 号に掲げる法人又は国若しくは地方公共団体に贈与するものとする。

## 第 9 章 公告の方法

(広告の方法)

- 第 40 条 この法人の公告方法は、主たる事務所の公衆の見やすい場所に掲示する方法とする。

## 第 10 章 事務局

(事務局)

第 41 条 この法人に事務局を置く。事務局の組織及び運営に関して必要な事項は理事会で定める。

## 第 11 章 雑 則

(委 任)

第 42 条 この定款に定めるもののほか、この法人の運営に必要な事項は、理事会の議決を経て、理事長が別に定める。

### 附 則

- 1 この定款は、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律及び公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律第 121 条第 1 項において読み替えて準用する同法第 106 条第 1 項に定める一般法人の設立の登記の日から施行する。
- 2 一般社団法人及び一般財団法人に関する法律及び公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律第 121 条第 1 項において読み替えて準用する同法第 106 条第 1 項に定める特例民法法人の解散の登記と一般法人の設立の登記を行ったときは、第 6 条の規定にかかわらず、解散の登記の日の前日を末日とし、設立の登記の日を事業年度の開始日とする。
- 3 この法人の設立当初の事業年度は、第 6 条の規定にかかわらず、この法人の成立の日から平成 25 年 3 月 31 日までとする。
- 4 この法人の最初の理事長は肥田美代子とする。
- 5 この法人の最初の評議員は、次に掲げる者とする。

秋田貞美	伊藤富士男	山去賢二
柳楽節雄	大橋一弘	土屋正三
井上一夫	坂井宏先	川島孝文
今村正樹	斎藤健司	筒井正博
関谷幸一	齊藤隆巳	江崎直利
高納勝寿	伊藤 聡	田江泰彦
清水康史	谷川直人	片岡 隆
増田義和	加藤真由美	小泉忠男
大塚 茂	金田 徹	亀井忠雄
鈴木一行	岩本幸子	石川博史
鹿谷史明	和田年正	北島義斉
岩渕 徹	森岡忠弘	大湊 満
溝口明秀	外山義朗	濱田博信

## 定款変更履歴

令和元（2019）年8月30日	第8条	一部変更
令和2（2020）年7月31日	第8条	一部変更
令和2（2020）年7月31日	第20条1項	一部変更
令和3（2021）年3月25日	第20条1項および 第20条2項	一部変更

禁無断転載

2025年7月

発行 一般財団法人 出版文化産業振興財団  
東京都千代田区神田神保町2丁目2番地30

電話 03(5211)7282

